

平成20年度（2008年度）

大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

平成21年9月

独立行政法人 日本学生支援機構



平成20年度（2008年度）  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

< 目次 >

< I ・調査方法及び回収状況等 >

- 1. 調査概要…………… 1
- 2. 注意事項…………… 1
- 3. 回収状況…………… 2
- 4. 表記区分…………… 3

< II ・調査結果及びその概要 >

- 1. 学校全体の学生数…………… 5
- 2. 障害学生数…………… 6
  - (1) 課程別
  - (2) 障害種別・学校種別
  - (3) 障害種別・学科（専攻）別
    - ア 大学
    - イ 短期大学（部）
    - ウ 高等専門学校
- 3. 障害学生在籍学校数…………… 11
  - (1) 障害種別・学校種別
  - (2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別
- 4. 支援障害学生数…………… 14
  - (1) 課程別
  - (2) 障害種別・学校種別
  - (3) 障害種別・学科（専攻）別
    - ア 大学
    - イ 短期大学（部）
    - ウ 高等専門学校
- 5. 支援障害学生在籍学校数…………… 21
  - (1) 障害種別・学校種別
  - (2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別
- 6. 授業に関する支援の実施状況…………… 24
  - (1) 障害種別・学校種別
  - (2) 授業支援内容別・障害種別
    - ア 総表
    - イ 大学
    - ウ 短期大学（部）
    - エ 高等専門学校
  - (3) 障害種別詳細
- 7. 障害学生支援に関わる研修・啓発活動実施状況…………… 37
  - (1) 学校種別・障害学生在籍者数別・支援障害学生在籍者数別
  - (2) 学校種別・内容別

8. 入学時に障害を理由とする特別な措置を行った入学者数等……………	40
(1) 課程別	
(2) 障害を理由とする特別措置の申請等（障害種別・学校種別）	
9. 障害学生の卒業後の進路……………	42
進路状況（学校種別・障害種別）	
10. 発達障害学生支援状況（一部再掲）……………	43
(1) 発達障害学生数	
ア 学校種別	
イ 学科（専攻）別	
(2) 発達障害学生在籍学校数（学校種別）	
(3) 支援発達障害学生数	
ア 学校種別	
イ 学科（専攻）別	
(4) 支援発達障害学生在籍学校数（学校種別）	
(5) 発達障害学生への支援	
ア 担当部署	
イ 支援内容	
(6) 発達障害を理由とする特別措置を行なった入学者詳細	
(7) 発達障害学生の卒業後の進路状況（学校種別）	
調査票……………	55
記入上の注意	
大学・大学院用	
短期大学（部）用	
高等専門学校用	

< I ・ 調査方法及び回収状況等 >



## 1. 調査概要

- (1) 目的：障害のある学生（以下「障害学生」という。）の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「学校」という。）における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象：大学（大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ。）、短期大学（部）（大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。以下同じ。）、高等専門学校（専攻科を含む。以下同じ。）
- (3) 調査方法：郵送配付による悉皆調査
- (4) 調査期日：平成20年5月1日現在

## 2. 注意事項

- (1) 本調査における「障害学生数」は、以下の説明により回答を得た数値である。
  - ① 「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生又は「健康診断等において障害があることが明らかになった学生」（重複する場合は実数）
  - ② 障害学生の障害種別の内訳区分については、以下の注釈を付記した。
    - 【「肢体不自由」内の「他の機能障害」】  
以下の通り、体幹の機能障害のある者  
体幹の機能障害のみ、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害
    - 【重複】  
以下の通り、視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由又は病弱・虚弱の障害が重複している者  
視・聴、視・肢、視・病、聴・肢、聴・病、肢・病、視・聴・肢、視・聴・病、視・肢・病、聴・肢・病、視・聴・肢・病
    - 【病弱・虚弱】
      - 1 心臓疾患、じん臓疾患、呼吸器疾患、ぼうこう疾患、直腸疾患、小腸疾患、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫疾患、神経疾患及び悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者
      - 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者
    - 【発達障害（診断書有）】  
発達障害の医師の診断書がある者  
LD＝学習障害    ADHD＝注意欠陥/多動性障害  
高機能自閉症等＝高機能自閉症及びアスペルガー症候群
    - 【その他（診断書有）】  
視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者  
具体の障害名を記入（例：統合失調症、パニック障害、高次脳機能障害、など）

(2) 「障害学生数」には含めないが、社会情勢を鑑み、以下の定義により発達障害（診断書無・配慮有）の学生について回答を得た。

【発達障害（診断書無・配慮有）】

発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行なっていない者は除く）

LD＝学習障害 ADHD＝注意欠陥/多動性障害

高機能自閉症等＝高機能自閉症及びアスペルガー症候群

(3) 調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生、及び別科生は含まない。

(4) 表中の（ ）内は、平成 19 年度の調査結果の数値である。

(5) 「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援（例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む）を行っている（今年度中の支援予定を含む）障害学生をいう。

(6) 学科（専攻）の分類は、平成 20 年度学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」による。

### 3. 回収状況

回収率は 100.0%。学校種別には以下のとおり。

表 1

区 分		対象校数 (校)	回答校数 (校)	回収率 (%)
大学	国立	86 (87)	86 (87)	100.0 (100.0)
	公立	77 (83)	77 (83)	100.0 (100.0)
	私立	594 (584)	594 (584)	100.0 (100.0)
	小計	757 (754)	757 (754)	100.0 (100.0)
短期大学(部)	国立	1 (1)	1 (1)	100.0 (100.0)
	公立	24 (29)	24 (29)	100.0 (100.0)
	私立	372 (382)	372 (382)	100.0 (100.0)
	小計	397 (412)	397 (412)	100.0 (100.0)
高等専門学校	国立	55 (55)	55 (55)	100.0 (100.0)
	公立	6 (6)	6 (6)	100.0 (100.0)
	私立	3 (3)	3 (3)	100.0 (100.0)
	小計	64 (64)	64 (64)	100.0 (100.0)
計		1,218 (1,230)	1,218 (1,230)	100.0 (100.0)



## 4. 表記区分

### (1) 課程別

表 2

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学(部)	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	学科(通学)	学科生
	専攻科	専攻科生

### (2) 学校種別

表 3

学校種別	区 分
大 学	大学(専攻科を含む。)、大学院、大学院大学
短期大学(部)	短期大学(部)(専攻科を含む。)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む。)

### (3) 障害種別

表 4

障害種別	区 分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
重複	重複
病弱・虚弱	病弱・虚弱
発達障害 (診断書有)	LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等(アスペルガー症候群を含む。)
その他	上記に該当しない障害
発達障害(診断書 無・配慮有)	LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等(アスペルガー症候群を含む。)



< Ⅱ・調査結果及びその概要 >



## 1. 学校全体の学生数

表5

区 分		通学 (人)	通信 (人)	大学院 (通学) (人)	大学院 (通信) (人)	専攻科 (人)	計 (人)
大 学	国立	454,356 (456,491)	0 (0)	153,566 (153,599)	0 (0)	344 (399)	608,266 (610,489)
	公立	114,076 (110,359)	0 (0)	14,488 (14,201)	0 (0)	35 (27)	128,599 (124,587)
	私立	1,942,629 (1,944,592)	157,530 (194,498)	91,194 (90,431)	3,636 (3,360)	842 (828)	2,195,831 (2,233,709)
	小計	2,511,061 (2,511,442)	157,530 (194,498)	259,248 (258,231)	3,636 (3,360)	1,221 (1,254)	2,932,696 (2,968,785)
短期大学 (部)	国立	8 (104)	0 (0)	—	—	0 (0)	8 (104)
	公立	10,019 (9,917)	0 (0)	—	—	284 (291)	10,303 (10,208)
	私立	155,892 (169,097)	18,212 (24,122)	—	—	3,678 (4,021)	177,782 (197,240)
	小計	165,919 (179,118)	18,212 (24,122)	—	—	3,962 (4,312)	188,093 (207,552)
高等 専門学校	国立	50,108 (49,907)	—	—	—	3,015 (2,849)	53,123 (52,756)
	公立	3,934 (4,122)	—	—	—	214 (223)	4,148 (4,345)
	私立	2,084 (2,167)	—	—	—	37 (36)	2,121 (2,203)
	小計	56,126 (56,196)	—	—	—	3,266 (3,108)	59,392 (59,304)
計		2,733,106 (2,746,756)	175,742 (218,620)	259,248 (258,231)	3,636 (3,360)	8,449 (8,674)	3,180,181 (3,235,641)

## 2. 障害学生数

### (1) 課程別

#### < 概要 >

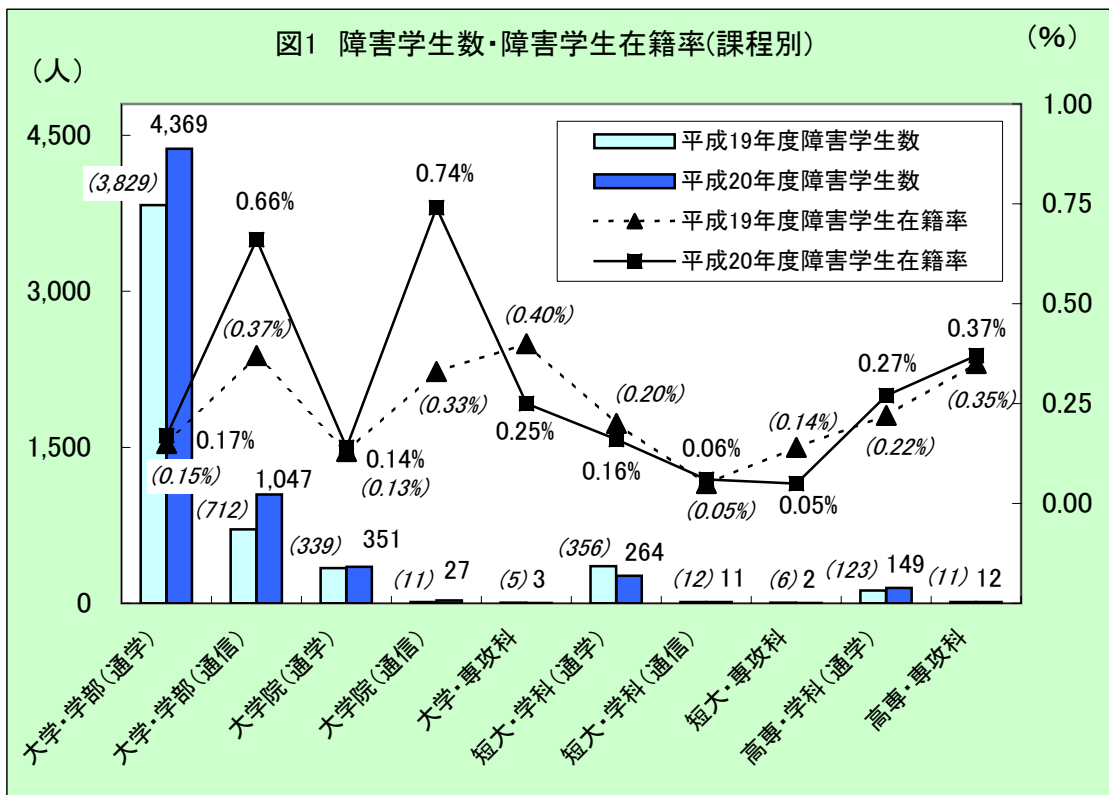
障害学生の総数は6,235人(前年度5,404人)で、障害学生在籍率(=障害学生数÷学生数×100)は、0.20%(同0.17%)であった。

#### < 結果 >

表6

区 分		障害学生数 (人)		学生数 (人)		障害学生 在籍率※ (%)	
大学	学部(通学)	4,369	(3,829)	2,511,061	(2,511,442)	0.17	(0.15)
	学部(通信)	1,047	(712)	157,530	(194,498)	0.66	(0.37)
	大学院(通学)	351	(339)	259,248	(258,231)	0.14	(0.13)
	大学院(通信)	27	(11)	3,636	(3,360)	0.74	(0.33)
	専攻科	3	(5)	1,221	(1,254)	0.25	(0.40)
	小計	5,797	(4,896)	2,932,696	(2,968,785)	0.20	(0.16)
短期 大学 (部)	学科(通学)	264	(356)	165,919	(179,118)	0.16	(0.20)
	学科(通信)	11	(12)	18,212	(24,122)	0.06	(0.05)
	専攻科	2	(6)	3,962	(4,312)	0.05	(0.14)
	小計	277	(374)	188,093	(207,552)	0.15	(0.18)
高等 専門 学校	学科(通学)	149	(123)	56,126	(56,196)	0.27	(0.22)
	専攻科	12	(11)	3,266	(3,108)	0.37	(0.35)
	小計	161	(134)	59,392	(59,304)	0.27	(0.23)
計		6,235	(5,404)	3,180,181	(3,235,641)	0.20	(0.17)

※障害学生在籍率：障害学生数÷学生数×100(%)



## (2) 障害種別・学校種別

### < 概要 >

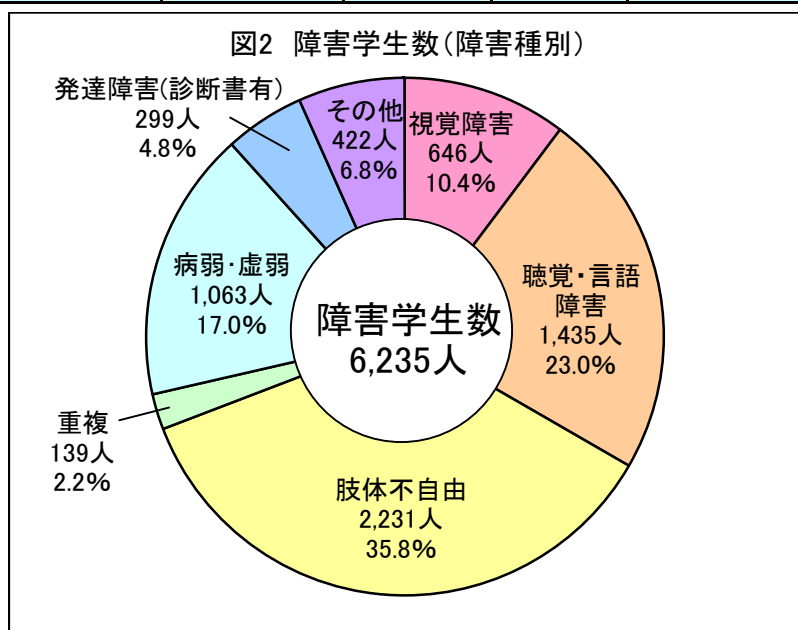
障害学生6,235人の障害種別内訳は、「視覚障害」646人（前年度577人）、「聴覚・言語障害」1,435人（同1,355人）、「肢体不自由」2,231人（同2,068人）、「重複」139人（同79人）、「病弱・虚弱」1,063人（同703人）、「発達障害（診断書有）」299人（同178人）であった。

また、障害種別の構成比は、「視覚障害」10.4%（同10.7%）、「聴覚・言語障害」23.0%（同25.1%）、「肢体不自由」35.8%（同38.3%）、「重複」2.2%（同1.5%）、「病弱・虚弱」17.0%（同13.0%）、「発達障害（診断書有）」4.8%（同3.3%）であった。

### < 結果 >

表7

区分		大学 (人)	短期大学 (部) (人)	高等 専門学校 (人)	計 (人)	構成比 (%)
視覚 障害	盲	149 (127)	6 (9)	1 (1)	156 (137)	2.5 (2.5)
	弱視	460 (302)	21 (42)	9 (7)	490 (351)	7.9 (6.5)
	区分不明	- (89)	- (0)	- (0)	- (89)	- (1.6)
	小計	609 (518)	27 (51)	10 (8)	646 (577)	10.4 (10.7)
聴覚・ 言語 障害	聾	416 (328)	12 (77)	0 (0)	428 (405)	6.9 (7.5)
	難聴	917 (835)	51 (67)	26 (19)	994 (921)	15.9 (17.0)
	言語障害のみ	12 (12)	1 (0)	0 (0)	13 (12)	0.2 (0.2)
	区分不明	- (17)	- (0)	- (0)	- (17)	- (0.3)
小計	1,345 (1,192)	64 (144)	26 (19)	1,435 (1,355)	23.0 (25.1)	
肢体 不自由	上肢機能障害	279 (204)	6 (11)	6 (2)	291 (217)	4.7 (4.0)
	下肢機能障害	870 (787)	51 (46)	16 (16)	937 (849)	15.0 (15.7)
	上下肢機能障害	648 (580)	16 (26)	12 (11)	676 (617)	10.8 (11.4)
	他の機能障害	312 (160)	9 (8)	6 (5)	327 (173)	5.2 (3.2)
	区分不明	- (212)	- (0)	- (0)	- (212)	- (3.9)
	小計	2,109 (1,943)	82 (91)	40 (34)	2,231 (2,068)	35.8 (38.3)
重複	136 (70)	3 (6)	0 (3)	139 (79)	2.2 (1.5)	
病弱・虚弱	992 (637)	47 (44)	24 (22)	1,063 (703)	17.0 (13.0)	
発達障 害(診断 書有)	LD	27 (15)	0 (0)	4 (4)	31 (19)	0.5 (0.4)
	ADHD	35 (21)	1 (0)	13 (5)	49 (26)	0.8 (0.5)
	高機能自閉症等	175 (103)	10 (4)	34 (26)	219 (133)	3.5 (2.5)
	小計	237 (139)	11 (4)	51 (35)	299 (178)	4.8 (3.3)
その他	369 (397)	43 (34)	10 (13)	422 (444)	6.8 (8.2)	
計	5,797 (4,896)	277 (374)	161 (134)	6,235 (5,404)	100.0 (100.0)	



(3)-ア 障害種別・学科（専攻）別（大学）

< 概要 >

障害学生6,235人のうち、大学（大学院含む）に在籍している障害学生数は、5,797人であった。学科（専攻）別には、「社会科学」2,124人で大学全体の36.6%で、「人文科学」1,339人（同23.1%）、「工学」677人（同11.7%）であった。

< 結果 >

表8

区 分		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)	保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
大学	視覚障害	盲	25	52	0	13	1	0	10	0	0	7	14	27	149
		弱視	66	106	13	42	4	2	91	0	5	36	9	86	460
		小計	91	158	13	55	5	2	101	0	5	43	23	113	609
	聴覚・ 言語障害	聾	44	127	5	165	4	1	2	0	1	40	13	14	416
		難聴	201	329	24	108	16	9	49	0	23	89	33	36	917
		言語障害のみ	2	6	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	12
		小計	247	462	29	274	20	10	52	0	25	129	46	51	1,345
	肢体 不自由	上肢機能障害	67	112	10	22	6	2	8	0	6	13	12	21	279
		下肢機能障害	195	338	21	85	9	17	37	0	7	36	33	92	870
		上下肢機能障害	158	274	14	52	5	3	12	0	1	20	17	92	648
		他の機能障害	51	135	5	32	2	1	7	0	3	11	2	63	312
		小計	471	859	50	191	22	23	64	0	17	80	64	268	2,109
	重複		36	56	2	11	1	0	6	0	1	10	0	13	136
	病弱・虚弱		266	402	33	85	21	11	52	0	14	52	12	44	992
	発達障害 (診断書 有)	LD	12	7	2	2	0	0	1	0	0	1	2	0	27
		ADHD	7	10	3	6	0	0	1	0	1	2	0	5	35
		高機能自閉症等	55	49	17	29	4	2	2	0	2	4	9	2	175
		小計	74	66	22	37	4	2	4	0	3	7	11	7	237
	その他		154	121	21	24	7	1	5	0	5	7	6	18	369
	計		1,339	2,124	170	677	80	49	284	0	70	328	162	514	5,797
構成比	(%)	23.1	36.6	2.9	11.7	1.4	0.8	4.9	0.0	1.2	5.7	2.8	8.9	100.0	



(3)-イ 障害種別・学科（専攻）別（短期大学（部））

< 概要 >

障害学生6,235人のうち、短期大学（部）に在籍している障害学生数は、277人であった。学科（専攻）別には、「教育」50人で短期大学（部）全体の18.1%で、「社会」49人（同17.7%）であった。

< 結果 >

表9

区分		人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
短期大学 (部)	視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	6
		弱視	4	5	1	1	1	5	1	1	1	1	21
		小計	4	5	1	1	1	5	2	3	3	2	27
	聴覚・ 言語障害	聾	0	3	1	2	0	0	2	2	0	2	12
		難聴	4	8	0	1	0	7	9	12	10	0	51
		言語障害のみ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		小計	4	11	2	3	0	7	11	14	10	2	64
	肢体 不自由	上肢機能障害	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	6
		下肢機能障害	8	12	2	1	0	2	12	6	3	5	51
		上下肢機能障害	6	5	0	0	0	0	1	0	0	4	16
		他の機能障害	0	1	0	0	0	1	4	2	0	1	9
		小計	15	19	2	1	0	3	18	9	3	12	82
	重複	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	
	病弱・虚弱	3	2	0	2	0	5	8	16	2	9	47	
	発達障害 (診断書 有)	LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ADHD	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		高機能自閉症等	3	2	0	1	0	0	2	0	1	1	10
		小計	3	2	0	1	0	0	3	0	1	1	11
	その他	1	10	0	3	0	12	2	8	6	1	43	
	計		31	49	5	11	1	32	46	50	25	27	277
構成比 (%)		11.2	17.7	1.8	4.0	0.4	11.6	16.6	18.1	9.0	9.7	100.0	

(3)-ウ 障害種別・学科（専攻）別（高等専門学校）

< 概要 >

障害学生6,235人のうち、高等専門学校に在籍している障害学生数は、161人であった。学科（専攻）別には、「工学」160人で高等専門学校全体の99.4%であった。

< 結果 >

表10

区 分		社 会 (人)	工 業 (人)	商 船 (人)	芸 術 (人)	計 (人)	
高等 専門 学校	視覚障害	盲	0	1	0	0	1
		弱視	0	9	0	0	9
		小計	0	10	0	0	10
	聴覚・ 言語障害	聾	0	0	0	0	0
		難聴	0	26	0	0	26
		言語障害のみ	0	0	0	0	0
		小計	0	26	0	0	26
	肢体 不自由	上肢機能障害	0	6	0	0	6
		下肢機能障害	0	16	0	0	16
		上下肢機能障害	1	11	0	0	12
		他の機能障害	0	6	0	0	6
		小計	1	39	0	0	40
	重複		0	0	0	0	0
	病弱・虚弱		0	24	0	0	24
	発達障害 (診断書 有)	LD	0	4	0	0	4
		ADHD	0	13	0	0	13
		高機能自閉症等	0	34	0	0	34
		小計	0	51	0	0	51
	その他		0	10	0	0	10
	計		1	160	0	0	161
構成比 (%)		0.6	99.4	0.0	0.0	100.0	

### 3. 障害学生在籍学校数

#### (1) 障害種別・学校種別

##### < 概要 >

「障害学生が在籍している」と回答のあった学校は719校(前年度710校)で、全体の59.0%(同57.7%)であった。

障害種別の障害学生在籍校数は、「視覚障害」205校(同200校)、「聴覚・言語障害」400校(同413校)、「肢体不自由」539校(同531校)、「重複」65校(同55校)、「病弱・虚弱」252校(同162校)、「発達障害(診断書有)」157校(同98校)であった。

##### < 結果 >

表11

区 分		大学 (校)	短期大学 (部) (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
視覚障 害	盲	68 (73)	6 (4)	1 (1)	75 (78)
	弱視	142 (139)	14 (8)	8 (6)	164 (153)
	区分不明	- (3)	- (0)	- (0)	- (3)
	視覚障害学生が 1人でも在籍する学校数	177 (182)	20 (11)	8 (7)	205 (200)
聴覚・ 言語障 害	聾	79 (90)	10 (11)	0 (0)	89 (101)
	難聴	307 (296)	38 (51)	15 (12)	360 (359)
	言語障害のみ	11 (12)	1 (0)	0 (0)	12 (12)
	区分不明	- (3)	- (0)	- (0)	- (3)
	聴覚・言語障害学生が 1人でも在籍する学校数	336 (341)	49 (60)	15 (12)	400 (413)
肢体 不自由	上肢機能障害	151 (131)	6 (10)	5 (5)	162 (146)
	下肢機能障害	336 (331)	40 (37)	13 (14)	389 (382)
	上下肢機能障害	253 (247)	15 (22)	10 (8)	278 (277)
	他の機能障害	116 (85)	6 (7)	6 (4)	128 (96)
	区分不明	- (3)	- (0)	- (0)	- (3)
	肢体不自由学生が 1人でも在籍する学校数	447 (445)	63 (62)	29 (24)	539 (531)
重複	重複障害学生が1人 でも在籍する学校数	62 (48)	3 (5)	0 (2)	65 (55)
病弱・ 虚弱	病弱・虚弱学生が 1人でも在籍する学校数	211 (130)	28 (22)	13 (10)	252 (162)
発達障 害 (診断 書有)	LD	22 (14)	0 (0)	4 (4)	26 (18)
	ADHD	29 (19)	1 (0)	11 (4)	41 (23)
	高機能自閉症等	96 (60)	10 (4)	17 (15)	123 (79)
	発達障害(診断書有)学生が1 人でも在籍する学校数	122 (76)	11 (4)	24 (18)	157 (98)
その他	その他障害学生が 1人でも在籍する学校数	92 (139)	14 (18)	6 (7)	112 (164)
障害学生在籍学校数		548 (539)	125 (132)	46 (39)	719 (710)
学校数		757 (754)	397 (412)	64 (64)	1,218 (1,230)
在籍率 (%)		72.4 (71.5)	31.5 (32.0)	71.9 (60.9)	59.0 (57.7)

(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別

< 概要 >

障害学生が在籍している719校の構成の内訳は、「1人在籍」169校（前年度168校）、「2～5人在籍」304校（同289校）、「6～10人在籍」113校（同130校）、「11～20人在籍」81校（同82校）、「21人以上在籍」52校（同41校）であった。

また、障害学生在籍者数別の構成比は、「障害学生の在籍が0人」41.0%（同42.3%）、「1人在籍」13.9%（同13.7%）、「2～5人在籍」25.0%（同23.5%）、「6～10人在籍」9.3%（同10.6%）、「11～20人在籍」6.7%（同6.7%）、「21人以上在籍」4.3%（同3.3%）であった。

全学校種を通じて、学校規模が大きくなるほど障害学生の在籍率も高くなる傾向が見られる。

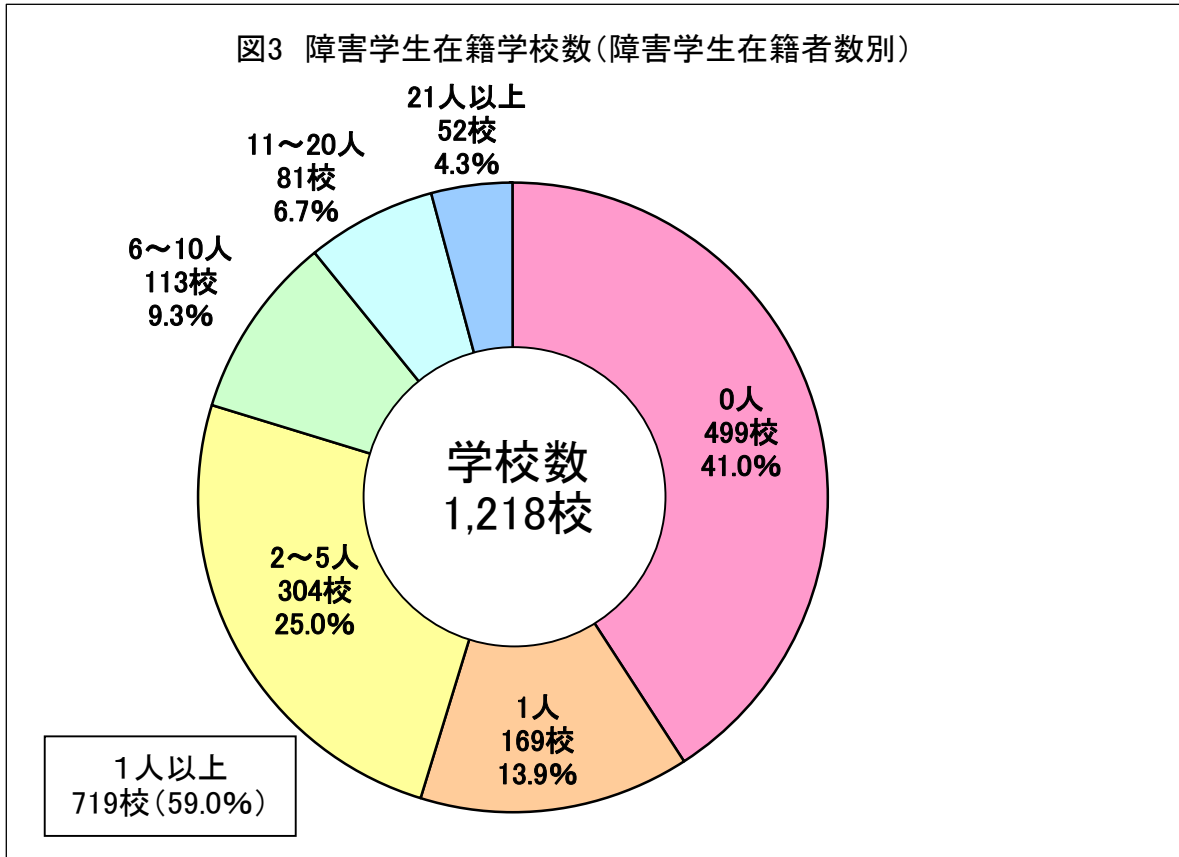
< 結果 >

表12

区分	学校種別	障害学生在籍者数別							計 (校)	1人以上 在籍 (校)	1人以上 在籍率 (%)
		21人 以上 (校)	11～ 20人 (校)	6～ 10人 (校)	2～5人 (校)	1人 (校)	0人 (校)	19年度 在籍校 (校)			
10,000人 以上	大 学	31 (23)	16 (23)	11 (16)	6 (5)	1 (1)	0 (1)	(0)	65 (69)	65 (68)	100.0 (98.6)
	短期大学(部)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)
	小 計	31 (23)	16 (23)	11 (16)	6 (5)	1 (1)	0 (1)	(0)	65 (69)	65 (68)	100.0 (98.6)
5,000 ～ 9,999人	大 学	10 (7)	20 (23)	30 (28)	30 (30)	7 (8)	4 (1)	(2)	101 (97)	97 (96)	96.0 (99.0)
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	(0)	1 (1)	1 (1)	100.0 (100.0)
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)
	小 計	10 (7)	20 (23)	30 (28)	31 (31)	7 (8)	4 (1)	(2)	102 (98)	98 (97)	96.1 (99.0)
4,000 ～ 4,999人	大 学	2 (2)	6 (5)	11 (13)	16 (20)	3 (2)	4 (1)	(3)	42 (43)	38 (42)	90.5 (97.7)
	短期大学(部)	- (0)	- (0)	- (0)	- (2)	- (0)	- (0)	(0)	- (2)	- (2)	- (100.0)
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)
	小 計	2 (2)	6 (5)	11 (13)	16 (22)	3 (2)	4 (1)	(3)	42 (45)	38 (44)	90.5 (97.8)
3,000 ～ 3,999人	大 学	3 (2)	11 (6)	5 (12)	15 (13)	2 (2)	5 (5)	(3)	41 (40)	36 (35)	87.8 (87.5)
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (1)	(0)	2 (3)	2 (2)	100.0 (66.7)
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)
	小 計	3 (2)	11 (6)	5 (12)	17 (15)	2 (2)	5 (6)	(3)	43 (43)	38 (37)	88.4 (86.0)
2,000 ～ 2,999人	大 学	0 (2)	13 (11)	20 (20)	48 (46)	9 (6)	8 (15)	(1)	98 (100)	90 (85)	91.8 (85.0)
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	(0)	3 (1)	2 (0)	66.7 (0.0)
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)
	小 計	0 (2)	13 (11)	20 (20)	49 (46)	10 (6)	9 (16)	(1)	101 (101)	92 (85)	91.1 (84.2)
1,000 ～ 1,999人	大 学	3 (3)	10 (10)	15 (18)	58 (58)	30 (30)	45 (45)	(13)	161 (164)	116 (119)	72.0 (72.6)
	短期大学(部)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	5 (4)	2 (3)	7 (10)	(3)	14 (20)	7 (10)	50.0 (50.0)
	高等専門学校	0 (0)	0 (1)	5 (2)	12 (11)	3 (5)	10 (10)	(4)	30 (29)	20 (19)	66.7 (65.5)
	小 計	3 (3)	10 (12)	20 (22)	75 (73)	35 (38)	62 (65)	(20)	205 (213)	143 (148)	69.8 (69.5)
500 ～ 999人	大 学	1 (0)	3 (0)	7 (15)	43 (26)	25 (27)	52 (59)	(10)	131 (127)	79 (68)	60.3 (53.5)
	短期大学(部)	1 (0)	0 (1)	2 (2)	21 (25)	22 (28)	63 (66)	(12)	109 (122)	46 (56)	42.2 (45.9)
	高等専門学校	0 (0)	1 (1)	5 (2)	10 (10)	9 (7)	6 (14)	(1)	31 (34)	25 (20)	80.6 (58.8)
	小 計	2 (0)	4 (2)	14 (19)	74 (61)	56 (62)	121 (139)	(23)	271 (283)	150 (144)	55.4 (50.9)
1 ～ 499人	大 学	1 (1)	0 (0)	1 (0)	8 (9)	17 (16)	91 (88)	(10)	118 (114)	27 (26)	22.9 (22.8)
	短期大学(部)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	28 (27)	37 (33)	201 (202)	(27)	268 (263)	67 (61)	25.0 (23.2)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	(0)	3 (1)	1 (0)	33.3 (0.0)
	小 計	1 (2)	1 (0)	2 (0)	36 (36)	55 (49)	294 (291)	(37)	389 (378)	95 (87)	24.4 (23.0)
学校 種別計	大 学	51 (40)	79 (78)	100 (122)	224 (207)	94 (92)	209 (215)	(42)	757 (754)	548 (539)	72.4 (71.5)
	短期大学(部)	1 (1)	1 (2)	3 (4)	58 (61)	62 (64)	272 (280)	(42)	397 (412)	125 (132)	31.5 (32.0)
	高等専門学校	0 (0)	1 (2)	10 (4)	22 (21)	13 (12)	18 (25)	(5)	64 (64)	46 (39)	71.9 (60.9)
計	52 (41)	81 (82)	113 (130)	304 (289)	169 (168)	499 (520)	(89)	1,218 (1,230)	719 (710)	59.0 (57.7)	
構成比 (%)	4.3 (3.3)	6.7 (6.7)	9.3 (10.6)	25.0 (23.5)	13.9 (13.7)	41.0 (42.3)	(-)	100.0 (100.0)	(-)	(-)	

※19年度在籍校：平成20年度障害学生数0人の学校のうち、平成19年度に1人以上の障害学生が在籍していた学校数

図3 障害学生在籍学校数(障害学生在籍者数別)



## 4. 支援障害学生数

### (1) 課程別

#### < 概要 >

障害学生6,235人のうち、「学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行っている（今年度中の予定を含む。）障害学生（以下「支援障害学生」という。）」の総数は、3,440人（前年度2,972人）で、支援障害学生在籍率（＝支援障害学生数÷学生数×100）は0.11%（同0.09%）であった。

また、障害学生支援率（＝支援障害学生数÷障害学生数×100）は55.2%（同55.0%）であった。

#### < 結果 >

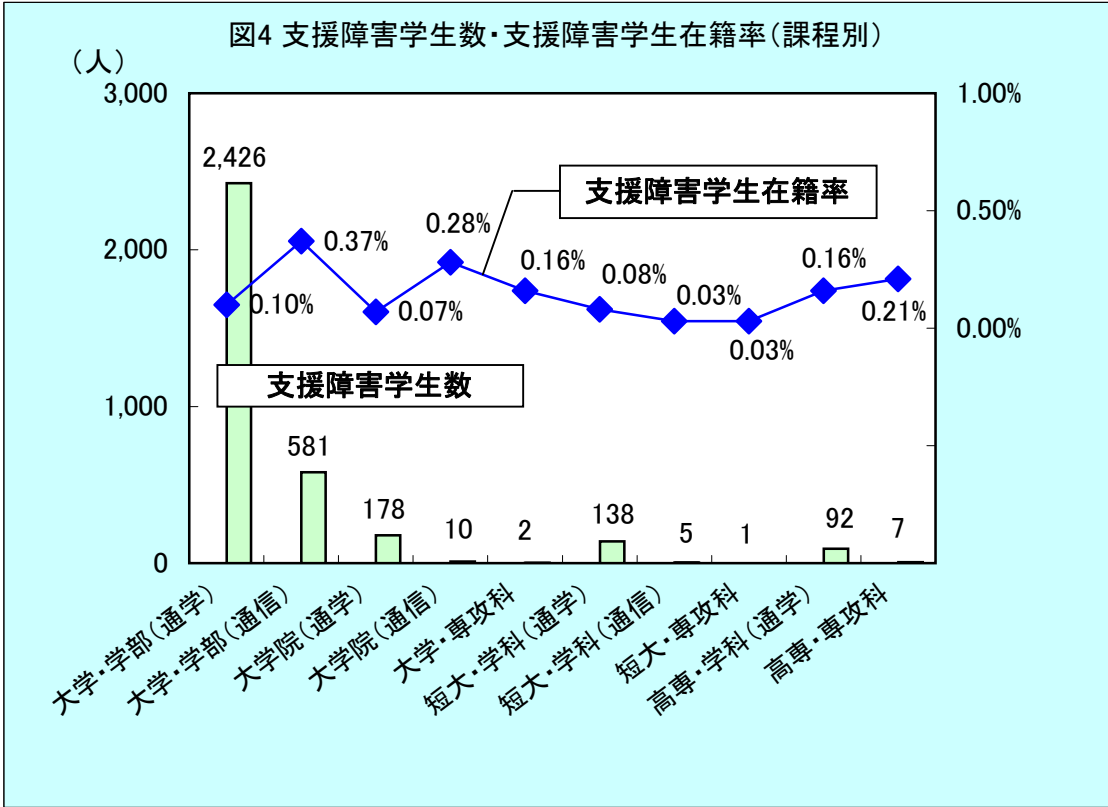
表13

区 分		学生数 (人)	障害 学生数 (人)	支援 障害 学生数 (人)	支援 障害学生 在籍率※1 (%)	障害学生 支援率※2 (%)
大 学	学部(通学)	2,511,061 (2,511,442)	4,369 (3,829)	2,426 (2,031)	0.10 (0.08)	55.5 (53.0)
	学部(通信)	157,530 (194,498)	1,047 (712)	581 (495)	0.37 (0.25)	55.5 (69.5)
	大学院(通学)	259,248 (258,231)	351 (339)	178 (148)	0.07 (0.06)	50.7 (43.7)
	大学院(通信)	3,636 (3,360)	27 (11)	10 (7)	0.28 (0.21)	37.0 (63.6)
	専攻科	1,221 (1,254)	3 (5)	2 (3)	0.16 (0.24)	66.7 (60.0)
	小計	2,932,696 (2,968,785)	5,797 (4,896)	3,197 (2,684)	0.11 (0.09)	55.1 (54.8)
短期大学(部)	学科(通学)	165,919 (179,118)	264 (356)	138 (201)	0.08 (0.11)	52.3 (56.5)
	学科(通信)	18,212 (24,122)	11 (12)	5 (8)	0.03 (0.03)	45.5 (66.7)
	専攻科	3,962 (4,312)	2 (6)	1 (0)	0.03 (0.00)	50.0 (0.0)
	小計	188,093 (207,552)	277 (374)	144 (209)	0.08 (0.10)	52.0 (55.9)
高等専門学校	学科(通学)	56,126 (56,196)	149 (123)	92 (75)	0.16 (0.13)	61.7 (61.0)
	専攻科	3,266 (3,108)	12 (11)	7 (4)	0.21 (0.13)	58.3 (36.4)
	小計	59,392 (59,304)	161 (134)	99 (79)	0.17 (0.13)	61.5 (59.0)
計	3,180,181 (3,235,641)	6,235 (5,404)	3,440 (2,972)	0.11 (0.09)	55.2 (55.0)	

※1 支援障害学生在籍率：支援障害学生数÷学生数×100(%)

※2 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

図4 支援障害学生数・支援障害学生在籍率(課程別)



(2) 障害種別・学校種別

< 概要 >

支援障害学生3,440人の障害種別内訳は、「視覚障害」460人(前年度452人)、「聴覚・言語障害」902人(同923人)、「肢体不自由」1,216人(同1,088人)、「重複」76人(同58人)、「病弱・虚弱」406人(同206人)、「発達障害(診断書有)」228人(同91人)であった。

また、障害種別の構成比は、「視覚障害」13.4%(同15.2%)、「聴覚・言語障害」26.2%(同31.1%)、「肢体不自由」35.3%(同36.6%)、「重複」2.2%(同2.0%)、「病弱・虚弱」11.8%(同6.9%)、「発達障害(診断書有)」6.6%(同3.1%)であった。

更に、障害種別の障害学生支援率は、「視覚障害」71.2%(同78.3%)、「聴覚・言語障害」62.9%(同68.1%)、「肢体不自由」54.5%(同52.6%)、「重複」54.7%(同73.4%)、「病弱・虚弱」38.2%(同29.3%)、「発達障害(診断書有)」76.3%(同51.1%)であった。

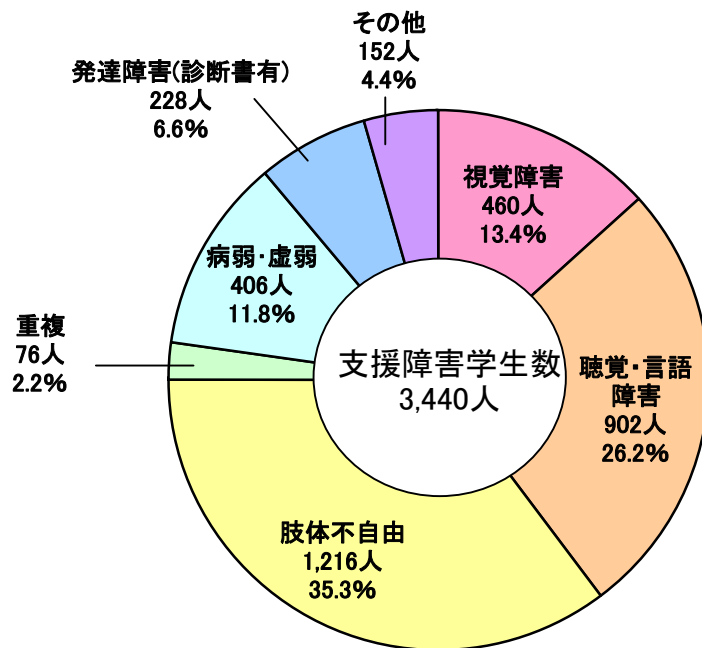
< 結果 >

表14

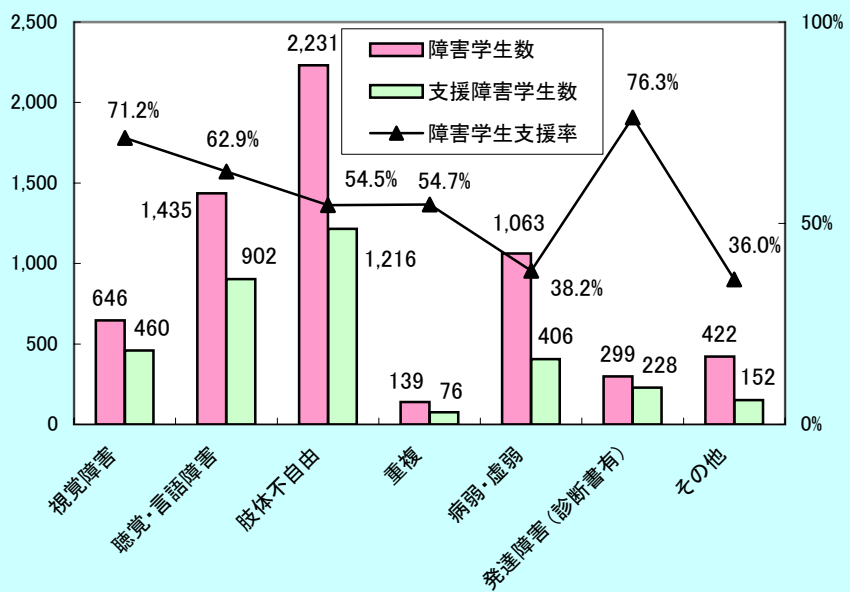
区分	大学			短期大学(部)			高等専門学校			計				
	障害学生数 (人)	支援障害学生数 (人)	障害学生支援率 (%)	障害学生数 (人)	支援障害学生数 (人)	障害学生支援率 (%)	障害学生数 (人)	支援障害学生数 (人)	障害学生支援率 (%)	障害学生数 (人)	支援障害学生数 (人)	構成比 (%)	障害学生支援率 (%)	
視覚障害	盲	149 (127)	134 (109)	89.9 (85.8)	6 (9)	4 (9)	66.7 (100.0)	1 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	156 (137)	138 (118)	4.0 (4.0)	88.5 (86.1)
	弱視	460 (302)	307 (208)	66.7 (68.9)	21 (42)	13 (36)	61.9 (85.7)	9 (7)	2 (2)	22.2 (28.6)	490 (351)	322 (246)	9.4 (8.3)	65.7 (70.1)
	区分不明	- (89)	- (88)	- (98.9)	- (0)	- (0)	- (-)	- (0)	- (0)	- (-)	- (89)	- (88)	- (3.0)	- (98.9)
	小計	609 (518)	441 (405)	72.4 (78.2)	27 (51)	17 (45)	63.0 (88.2)	10 (8)	2 (2)	20.0 (25.0)	646 (577)	460 (452)	13.4 (15.2)	71.2 (78.3)
聴覚・言語障害	聾	416 (328)	370 (303)	88.9 (92.4)	12 (77)	11 (75)	91.7 (97.4)	0 (0)	0 (0)	0.0 (-)	428 (405)	381 (378)	11.1 (12.7)	89.0 (93.3)
	難聴	917 (835)	476 (484)	51.9 (58.0)	51 (67)	27 (34)	52.9 (50.7)	26 (19)	13 (10)	50.0 (52.6)	994 (921)	516 (528)	15.0 (17.8)	51.9 (57.3)
	言語障害のみ	12 (12)	4 (3)	33.3 (25.0)	1 (0)	1 (0)	100.0 (-)	0 (0)	0 (0)	- (-)	13 (12)	5 (3)	0.1 (0.1)	38.5 (25.0)
	区分不明	- (17)	- (14)	- (82.4)	- (0)	- (0)	- (-)	- (0)	- (0)	- (-)	- (17)	- (14)	- (0.5)	- (82.4)
	小計	1,345 (1,192)	850 (804)	63.2 (67.4)	64 (144)	39 (109)	60.9 (75.7)	26 (19)	13 (10)	50.0 (52.6)	1,435 (1,355)	902 (923)	26.2 (31.1)	62.9 (68.1)
肢体不自由	上肢機能障害	279 (204)	93 (53)	33.3 (26.0)	6 (11)	3 (2)	50.0 (18.2)	6 (2)	2 (1)	33.3 (50.0)	291 (217)	98 (56)	2.8 (1.9)	33.7 (25.8)
	下肢機能障害	870 (787)	444 (377)	51.0 (47.9)	51 (46)	30 (13)	58.8 (28.3)	16 (16)	9 (9)	56.3 (56.3)	937 (849)	483 (399)	14.0 (13.4)	51.5 (47.0)
	上下肢機能障害	648 (580)	430 (341)	66.4 (58.8)	16 (26)	11 (15)	68.8 (57.7)	12 (11)	9 (7)	75.0 (63.6)	676 (617)	450 (363)	13.1 (12.2)	66.6 (58.8)
	他の機能障害	312 (160)	177 (65)	56.7 (40.6)	9 (8)	4 (2)	44.4 (25.0)	6 (5)	4 (3)	66.7 (60.0)	327 (173)	185 (70)	5.4 (2.4)	56.6 (40.5)
	区分不明	- (212)	- (200)	- (94.3)	- (0)	- (0)	- (-)	- (0)	- (0)	- (-)	- (212)	- (200)	- (6.7)	- (94.3)
	小計	2,109 (1,943)	1,144 (1,036)	54.2 (53.3)	82 (91)	48 (32)	58.5 (35.2)	40 (34)	24 (20)	60.0 (58.8)	2,231 (2,068)	1,216 (1,088)	35.3 (36.6)	54.5 (52.6)
重複	136 (70)	75 (52)	55.1 (74.3)	3 (6)	1 (4)	33.3 (66.7)	0 (3)	0 (2)	- (66.7)	139 (79)	76 (58)	2.2 (2.0)	54.7 (73.4)	
病弱・虚弱	992 (637)	364 (188)	36.7 (29.5)	47 (44)	24 (4)	51.1 (9.1)	24 (22)	18 (14)	75.0 (63.6)	1,063 (703)	406 (206)	11.8 (6.9)	38.2 (29.3)	
発達障害 (診断書有)	LD	27 (15)	19 (9)	70.4 (60.0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	4 (4)	3 (3)	75.0 (75.0)	31 (19)	22 (12)	0.6 (0.4)	71.0 (63.2)
	ADHD	35 (21)	24 (7)	68.6 (33.3)	1 (0)	0 (0)	- (-)	13 (5)	7 (4)	53.8 (80.0)	49 (26)	31 (11)	0.9 (0.4)	63.3 (42.3)
	高機能自閉症等	175 (103)	139 (47)	79.4 (45.6)	10 (4)	8 (2)	80.0 (50.0)	34 (26)	28 (19)	82.4 (73.1)	219 (133)	175 (68)	5.1 (2.3)	79.9 (51.1)
	小計	237 (139)	182 (63)	76.8 (45.3)	11 (4)	8 (2)	72.7 (50.0)	51 (35)	38 (26)	74.5 (74.3)	299 (178)	228 (91)	6.6 (3.1)	76.3 (51.1)
その他	369 (397)	141 (136)	38.2 (34.3)	43 (34)	7 (13)	16.3 (38.2)	10 (13)	4 (5)	40.0 (38.5)	422 (444)	152 (154)	4.4 (5.2)	36.0 (34.7)	
計	5,797 (4,896)	3,197 (2,684)	55.1 (54.8)	277 (374)	144 (209)	52.0 (55.9)	161 (134)	99 (79)	61.5 (59.0)	6,235 (5,404)	3,440 (2,972)	100.0 (100.0)	55.2 (55.0)	



図5 支援障害学生数(障害種別)



(人) 図6 障害学生数と支援障害学生数と障害学生支援率



(3)-ア 障害種別・学科（専攻）別（大学）

< 概要 >

支援障害学生3,440人のうち、大学（大学院含む）に在籍している支援障害学生数は、3,197人であった。学科（専攻）別には、「社会科学」1,115人で大学全体の34.9%で、「人文科学」634人（同19.8%）、「工学」430人（同13.5%）であった。

< 結果 >

表15

区 分		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)	保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
大学	視覚障害	盲	24	42	0	13	0	0	10	0	0	7	11	27	134
		弱視	35	50	8	30	3	0	80	0	2	9	8	82	307
		小計	59	92	8	43	3	0	90	0	2	16	19	109	441
	聴覚・ 言語障害	聾	34	107	4	161	4	1	2	0	1	36	9	11	370
		難聴	93	188	14	61	8	6	17	0	7	44	19	19	476
		言語障害のみ	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
		小計	127	298	18	222	12	7	19	0	8	80	28	31	850
	肢体 不自由	上肢機能障害	18	35	4	10	2	1	1	0	2	2	4	14	93
		下肢機能障害	91	166	9	43	2	6	15	0	4	12	24	72	444
		上下肢機能障害	92	182	8	32	1	2	7	0	0	10	12	84	430
		他の機能障害	21	67	3	13	1	0	4	0	1	5	2	60	177
		小計	222	450	24	98	6	9	27	0	7	29	42	230	1,144
	重複	13	29	2	6	1	0	2	0	0	9	0	13	75	
	病弱・虚弱	107	147	13	22	1	2	17	0	1	18	7	29	364	
	発達障害 (診断書 有)	LD	8	6	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	19
		ADHD	5	4	3	6	0	0	1	0	1	1	0	3	24
		高機能自閉症等	42	42	13	23	1	1	2	0	2	3	9	1	139
		小計	55	52	18	30	1	1	4	0	3	5	9	4	182
	その他	51	47	8	9	3	1	2	0	3	0	3	14	141	
	計		634	1,115	91	430	27	20	161	0	24	157	108	430	3,197
	構成比 (%)		19.8	34.9	2.8	13.5	0.8	0.6	5.0	0.0	0.8	4.9	3.4	13.5	100.0

(3)-イ 障害種別・学科（専攻）別（短期大学（部））

< 概要 >

支援障害学生3,440人のうち、短期大学（部）に在籍している支援障害学生数は、144人であった。学科（専攻）別には、「教育」27人で短期大学（部）全体の18.8%、「社会」および「家政」25人（同17.4%）であった。

< 結果 >

表16

区 分		人 文	社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
短期大学 (部)	視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	4
		弱視	2	2	1	1	0	4	1	1	1	0	13
		小計	2	2	1	1	0	4	2	1	3	1	17
	聴覚・ 言語障害	聾	0	3	1	2	0	0	2	2	0	1	11
		難聴	3	6	0	1	0	0	4	6	7	0	27
		言語障害のみ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		小計	3	9	2	3	0	0	6	8	7	1	39
	肢体 不自由	上肢機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
		下肢機能障害	5	8	2	1	0	0	7	3	2	2	30
		上下肢機能障害	5	2	0	0	0	0	1	0	0	3	11
		他の機能障害	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	4
		小計	11	12	2	1	0	0	9	4	2	7	48
	重複	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	病弱・虚弱	1	1	0	1	0	3	5	8	0	5	24	
	発達障害 (診断書 有)	LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		高機能自閉症等	2	1	0	1	0	0	2	0	1	1	8
		小計	2	1	0	1	0	0	2	0	1	1	8
	その他	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	7	
	計		19	25	5	7	0	7	25	27	14	15	144
構成比 (%)		13.2	17.4	3.5	4.9	0.0	4.9	17.4	18.8	9.7	10.4	100.0	

(3)-ウ 障害種別・学科（専攻）別（高等専門学校）

< 概要 >

障害学生3,440人のうち、高等専門学校に在籍している障害学生数は、99人であった。学科（専攻）別には、「工学」98人で高等専門学校全体の99.0%であった。

< 結果 >

表17

区 分		社 会 (人)	工 業 (人)	商 船 (人)	芸 術 (人)	計 (人)	
高等 専門 学校	視覚障害	盲	0	0	0	0	0
		弱視	0	2	0	0	2
		小計	0	2	0	0	2
	聴覚・ 言語障害	聾	0	0	0	0	0
		難聴	0	13	0	0	13
		言語障害のみ	0	0	0	0	0
		小計	0	13	0	0	13
	肢体 不自由	上肢機能障害	0	2	0	0	2
		下肢機能障害	0	9	0	0	9
		上下肢機能障害	1	8	0	0	9
		他の機能障害	0	4	0	0	4
		小計	1	23	0	0	24
	重複		0	0	0	0	0
	病弱・虚弱		0	18	0	0	18
	発達障害 (診断書 有)	LD	0	3	0	0	3
		ADHD	0	7	0	0	7
		高機能自閉症等	0	28	0	0	28
		小計	0	38	0	0	38
	その他		0	4	0	0	4
	計		1	98	0	0	99
構成比 (%)		1.0	99.0	0.0	0.0	100.0	

## 5. 支援障害学生在籍学校数

### (1) 障害種別・学校種別

#### < 概要 >

「支援障害学生が在籍している」と回答のあった学校は567校（前年度519校）で、全体の46.6%（同42.2%）であった。また、障害学生在籍校719校では78.9%（同73.1%）であった。

障害種別の支援障害学生在籍校数は、「視覚障害」145校（同151校）、「聴覚・言語障害」293校（同302校）、「肢体不自由」369校（同340校）、「重複」41校（同43校）、「病弱・虚弱」102校（同72校）、「発達障害(診断書有)」129校（同52校）であった。

#### < 結果 >

表18

区 分		大学 (校)	短期大学 (部) (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	盲	62 (63)	4 (4)	0 (0)	66 (67)
	弱視	99 (100)	8 (3)	2 (2)	109 (105)
	区分不明	- (3)	- (0)	- (0)	- (3)
	支援視覚障害学生が 1人でも在籍する学校数	131 (143)	12 (6)	2 (2)	145 (151)
聴覚・ 言語障害	聾	72 (79)	9 (9)	0 (0)	81 (88)
	難聴	215 (207)	22 (26)	11 (7)	248 (240)
	言語障害のみ	3 (3)	1 (0)	0 (0)	4 (3)
	区分不明	- (3)	- (0)	- (0)	- (3)
	支援聴覚・言語障害学生が 1人でも在籍する学校数	250 (260)	32 (35)	11 (7)	293 (302)
肢体 不自由	上肢機能障害	55 (36)	3 (2)	2 (1)	60 (39)
	下肢機能障害	205 (198)	22 (10)	7 (8)	234 (216)
	上下肢機能障害	180 (173)	10 (13)	8 (5)	198 (191)
	他の機能障害	72 (33)	3 (2)	4 (3)	79 (38)
	区分不明	- (3)	- (0)	- (0)	- (3)
	支援肢体不自由学生が 1人でも在籍する学校数	314 (299)	36 (25)	19 (16)	369 (340)
重複	支援重複障害学生が1人 でも在籍する学校数	40 (38)	1 (4)	0 (1)	41 (43)
病弱・虚弱	支援病弱・虚弱学生が 1人でも在籍する学校数	80 (62)	13 (4)	9 (6)	102 (72)
発達障害 (診断書有)	LD	17 (8)	0 (0)	3 (3)	20 (11)
	ADHD	20 (7)	0 (0)	6 (3)	26 (10)
	高機能自閉症等	84 (33)	8 (2)	15 (9)	107 (44)
	支援発達障害(診断書 有)学生が1人でも在籍す る学校数	103 (39)	8 (2)	18 (11)	129 (52)
その他	支援その他障害学生が 1人でも在籍する学校数	48 (53)	4 (9)	4 (4)	56 (66)
支援障害学生在籍学校数		450 (424)	81 (69)	36 (26)	567 (519)
学校数		757 (754)	397 (412)	64 (64)	1,218 (1,230)
在籍率 (%)		59.4 (56.2)	20.4 (16.7)	56.3 (40.6)	46.6 (42.2)
障害学生在籍学校数		548 (539)	125 (132)	46 (39)	719 (710)
在籍率 (%)		82.1 (78.7)	64.8 (52.3)	78.3 (66.7)	78.9 (73.1)

(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別

< 概要 >

支援障害学生が在籍している567校の構成の内訳は、「1人在籍」168校（前年度163校）、「2～5人在籍」265校（同239校）、「6～10人在籍」78校（同66校）、「11～20人在籍」36校（同34校）、「21人以上在籍」20校（同17校）であった。

また、支援障害学生在籍者数別の構成比は、「支援障害学生の在籍0人」53.4%（同57.8%）、「1人在籍」13.8%（同13.3%）、「2～5人在籍」21.8%（同19.4%）、「6～10人在籍」6.4%（同5.4%）、「11～20人在籍」3.0%（同2.8%）、「21人以上在籍」1.6%（同1.4%）であった。

全学校種を通じて、学校規模が大きくなるほど支援障害学生の在籍率が高くなる傾向が見られる。

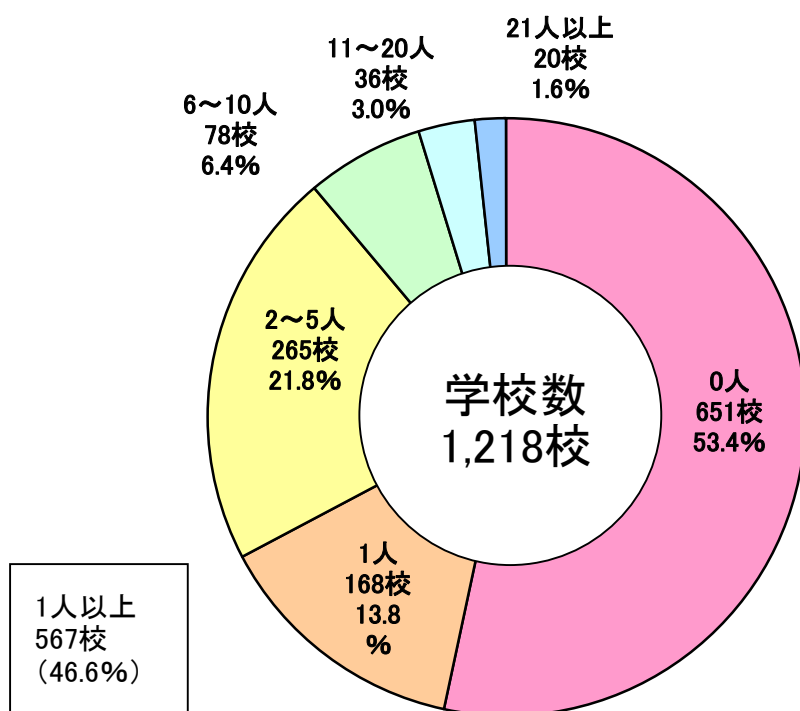
< 結果 >

表19

区分	学校種別	支援障害学生在籍者数別								計 (校)	1人以上 在籍 (校)	1人以上 在籍率 (%)
		21人 以上 (校)	11～ 20人 (校)	6～ 10人 (校)	2～5人 (校)	1人 (校)	0人 (校)	19年度 在籍校 (校)				
10,000人 以上	大 学	12 (10)	17 (14)	15 (17)	14 (21)	4 (4)	3 (3)	(2)	65 (69)	62 (66)	95.4 (95.7)	
	短期大学(部)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)	
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)	
	小 計	12 (10)	17 (14)	15 (17)	14 (21)	4 (4)	3 (3)	(2)	65 (69)	62 (66)	95.4 (95.7)	
5,000 ～ 9,999人	大 学	3 (3)	6 (7)	22 (15)	46 (38)	12 (16)	12 (18)	(5)	101 (97)	89 (79)	88.1 (81.4)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	(0)	1 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)	
	小 計	3 (3)	6 (7)	22 (15)	46 (38)	12 (16)	13 (19)	(5)	102 (98)	89 (79)	87.3 (80.6)	
4,000 ～ 4,999人	大 学	0 (0)	4 (2)	6 (2)	14 (23)	10 (10)	8 (6)	(5)	42 (43)	34 (37)	81.0 (86.0)	
	短期大学(部)	- (0)	- (0)	- (0)	- (0)	- (0)	- (2)	0	- (2)	- (0)	- (0.0)	
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)	
	小 計	0 (0)	4 (2)	6 (2)	14 (23)	10 (10)	8 (8)	(5)	42 (45)	34 (37)	81.0 (82.2)	
3,000 ～ 3,999人	大 学	1 (0)	2 (2)	3 (5)	18 (18)	9 (5)	8 (10)	(0)	41 (40)	33 (30)	80.5 (75.0)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (3)	(0)	2 (3)	1 (0)	50.0 (0.0)	
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)	
	小 計	1 (0)	2 (2)	3 (5)	19 (18)	9 (5)	9 (13)	(0)	43 (43)	34 (30)	79.1 (69.8)	
2,000 ～ 2,999人	大 学	0 (0)	2 (2)	12 (9)	48 (40)	12 (12)	24 (37)	(5)	98 (100)	74 (63)	75.5 (63.0)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	2 (1)	(0)	3 (1)	1 (0)	33.3 (0.0)	
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	- (-)	- (-)	- (-)	
	小 計	0 (0)	2 (2)	12 (9)	48 (40)	13 (12)	26 (38)	(5)	101 (101)	75 (63)	74.3 (62.4)	
1,000 ～ 1,999人	大 学	3 (2)	1 (6)	9 (8)	48 (46)	28 (28)	72 (74)	(16)	161 (164)	89 (90)	55.3 (54.9)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (1)	2 (3)	10 (15)	(1)	14 (20)	4 (5)	28.6 (25.0)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (1)	3 (0)	11 (8)	2 (3)	14 (17)	(3)	30 (29)	16 (12)	53.3 (41.4)	
	小 計	3 (2)	1 (7)	12 (9)	61 (55)	32 (34)	96 (106)	(20)	205 (213)	109 (107)	53.2 (50.2)	
500 ～ 999人	大 学	0 (0)	3 (0)	2 (8)	26 (13)	23 (23)	77 (83)	(14)	131 (127)	54 (44)	41.2 (34.6)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	10 (12)	17 (22)	81 (88)	(6)	109 (122)	28 (34)	25.7 (27.9)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	3 (1)	6 (7)	11 (6)	11 (20)	(2)	31 (34)	20 (14)	64.5 (41.2)	
	小 計	0 (0)	3 (0)	6 (9)	42 (32)	51 (51)	169 (191)	(22)	271 (283)	102 (92)	37.6 (32.5)	
1 ～ 499人	大 学	1 (1)	0 (0)	1 (0)	4 (3)	9 (11)	103 (99)	(5)	118 (114)	15 (15)	12.7 (13.2)	
	短期大学(部)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	17 (9)	28 (20)	221 (233)	(16)	268 (263)	47 (30)	17.5 (11.4)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	(0)	3 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	小 計	1 (2)	1 (0)	2 (0)	21 (12)	37 (31)	327 (333)	(21)	389 (378)	62 (45)	15.9 (11.9)	
学校 種別計	大 学	20 (16)	35 (33)	70 (64)	218 (202)	107 (109)	307 (330)	(52)	757 (754)	450 (424)	59.4 (56.2)	
	短期大学(部)	0 (1)	1 (0)	2 (1)	30 (22)	48 (45)	316 (343)	(23)	397 (412)	81 (69)	20.4 (16.7)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (1)	6 (1)	17 (15)	13 (9)	28 (38)	(5)	64 (64)	36 (26)	56.3 (40.6)	
計	20 (17)	36 (34)	78 (66)	265 (239)	168 (163)	651 (711)	(80)	1,218 (1,230)	567 (519)	46.6 (42.2)		
構成比 (%)	1.6 (1.4)	3.0 (2.8)	6.4 (5.4)	21.8 (19.4)	13.8 (13.3)	53.4 (57.8)	(-)	100.0 (100.0)	- (-)	- (-)		

※19年度在籍校：平成20年度支援障害学生数0人の学校のうち、平成19年度に1人以上の支援障害学生が在籍していた学校数

図7 支援障害学生在籍者数別学校数



## 6. 授業に関する支援の実施状況

### (1) 障害種別・学校種別

#### < 概要 >

授業に関する支援（例：ノートテイク、手話通訳、点訳・墨訳など）を行っていると回答した学校は543校（前年度485校）であった。

障害種別には、「視覚障害」142校、「聴覚障害」290校、「肢体不自由」341校、「病弱・虚弱」84校、「発達障害」100校、「その他障害」76校であった。

また、教職員が支援を行なっている学校は221校、学生が支援を行なっている学校は233校、外部が支援を行なっている学校は136校であった。

#### < 結果 >

表18

区 分		大学 (校)	短期大学 (部) (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)	
視覚障害	実施校数	128 (141)	12 (6)	2 (2)	142 (149)	
	支援者	教職員	91	10	1	102
		学生	56	3	0	59
		外部	35	4	0	39
聴覚・ 言語障害	実施校数	249 (252)	30 (34)	11 (7)	290 (293)	
	支援者	教職員	65	10	1	76
		学生	159	18	0	177
		外部	89	10	0	99
肢体不自由	実施校数	294 (277)	28 (20)	19 (15)	341 (312)	
	支援者	教職員	38	5	3	46
		学生	53	3	3	59
		外部	16	4	1	21
病弱・虚弱	実施校数	65 (44)	10 (3)	9 (6)	84 (53)	
	支援者	教職員	10	1	0	11
		学生	4	0	0	4
		外部	1	0	0	1
発達障害	実施校数	81 (23)	5 (1)	14 (9)	100 (33)	
	支援者	教職員	26	3	7	36
		学生	15	0	1	16
		外部	2	0	1	3
その他	実施校数	67 (58)	6 (11)	3 (3)	76 (72)	
	支援者	教職員	11	3	0	14
		学生	13	0	0	13
		外部	5	0	0	5
障害種別 区分なし	実施校数	437 (400)	70 (61)	36 (24)	543 (485)	
	支援者	教職員	181	29	11	221
		学生	207	22	4	233
		外部	119	14	3	136

※発達障害：発達障害（診断書有）及び発達障害（診断書無・配慮有）

（ ）内の平成19年度調査結果は発達障害（診断書有）についてのみ調査



\*

(2)-ア 授業に関する支援（授業支援内容別・障害種別）（総表）

< 概要 >

授業支援内容別・障害種別の状況は以下のとおりである。

< 結果 >

表21

区分	視覚障害					聴覚・言語障害					肢体不自由					病弱・虚弱				
	実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者		
			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部
(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	
1 点訳・墨訳	53 (63)	37.3 (42.3)	21	16	34	1 (1)	0.3 (0.3)		1	1	1	0.3		1	1	1	1.2		1	1
2 教材のテキストデータ化	53 (51)	37.3 (34.2)	42	16	8	13 (6)	4.5 (2.0)	10	4	2	9 (3)	2.6 (1.0)	7	3	2	1 (1)	1.2 (1.9)		1	1
3 教材の拡大	79 (78)	55.6 (52.3)	74	9	3	9 (8)	3.1 (2.7)	7	3	2	12 (7)	3.5 (2.2)	10	3	1	1	1.2		1	1
4 ガイドヘルプ	37 (25)	26.1 (16.8)	23	26	4	5 (3)	1.7 (1.0)	3	3	1	31 (29)	9.1 (9.3)	13	24	3	2	2.4		2	1
5 リーディングサービス	36 (31)	25.4 (20.8)	22	23	2	4 (3)	1.4 (1.0)	2	2	1	1 (1)	0.3 (0.3)		1	1	1	1.2		1	1
6 手話通訳	1 (1)	0.7 (0.7)		1	1	77 (87)	26.6 (29.7)	6	25	65	1	0.3		1	1	1	1.2		1	1
7 ノートテイク	20 (11)	14.1 (7.4)		18	5	185 (196)	63.8 (66.9)	21	166	53	35 (23)	10.3 (7.4)	1	29	10	1	1.2		1	1
8 パソコンテイク	7 (6)	4.9 (4.0)	1	6	2	80 (80)	27.6 (27.3)	16	67	22	13 (4)	3.8 (1.3)	3	10	3	1	1.2		1	1
9 ビデオ教材字幕付け	2 (1)	1.4 (0.7)		1	2	32 (32)	11.0 (10.9)	15	20	7	2	0.6	1	1	1	1	1.2		1	1
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	20 (15)	14.1 (10.1)	8	12	1	25 (23)	8.6 (7.8)	10	16	1	16 (20)	4.7 (6.4)	5	11	1	3 (1)	3.6 (1.9)	2	1	
11 試験時間延長・別室受験	89 (93)	62.7 (62.4)	-	-	-	20 (23)	6.9 (7.8)	-	-	-	121 (107)	35.5 (34.3)	-	-	-	16 (15)	19.0 (28.3)	-	-	-
12 解答方法配慮	74 (69)	52.1 (46.3)	-	-	-	26 (35)	9.0 (11.9)	-	-	-	76 (60)	22.3 (19.2)	-	-	-	6 (3)	7.1 (5.7)	-	-	-
13 パソコンの持込使用許可	46 (46)	32.4 (30.9)	-	-	-	33 (26)	11.4 (8.9)	-	-	-	51 (44)	15.0 (14.1)	-	-	-	4 (3)	4.8 (5.7)	-	-	-
14 注意事項等文書伝達	39 (38)	27.5 (25.5)	-	-	-	121 (119)	41.7 (40.6)	-	-	-	27 (23)	7.9 (7.4)	-	-	-	8 (7)	9.5 (13.2)	-	-	-
15 使用教室配慮	37 (24)	26.1 (16.1)	-	-	-	17 (22)	5.9 (7.5)	-	-	-	185 (152)	54.3 (48.7)	-	-	-	13 (8)	15.5 (15.1)	-	-	-
16 実技・実習配慮	57 (49)	40.1 (32.9)	-	-	-	72 (64)	24.8 (21.8)	-	-	-	158 (132)	46.3 (42.3)	-	-	-	49 (36)	58.3 (67.9)	-	-	-
17 教室内座席配慮	60 (54)	42.3 (36.2)	-	-	-	157 (144)	54.1 (49.1)	-	-	-	208 (179)	61.0 (57.4)	-	-	-	19 (13)	22.6 (24.5)	-	-	-
18 FM補聴器・マイク使用	2 (1)	1.4 (0.7)	-	-	-	66 (49)	22.8 (16.7)	-	-	-	2 (4)	0.6 (1.3)	-	-	-			-	-	-
19 専用机・イス・スペース確保	16 (21)	11.3 (14.1)	-	-	-	22 (14)	7.6 (4.8)	-	-	-	203 (194)	59.5 (62.2)	-	-	-	7 (3)	8.3 (5.7)	-	-	-
20 読み上げソフト使用	44	31.0	-	-	-			-	-	-	1	0.3	-	-	-			-	-	-
21 講義内容録音許可	32	22.5	-	-	-	24	8.3	-	-	-	19	5.6	-	-	-	3	3.6	-	-	-
22 休憩室の確保	12	8.5	-	-	-	11	3.8	-	-	-	62	18.2	-	-	-	17	20.2	-	-	-
実施校数	142 (149)		102	59	39	290 (293)		76	177	99	341 (312)		46	59	21	84 (53)		11	4	1

※各障害種別に授業支援内容は複数回答あり

※実施率:授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

※発達障害：発達障害(診断書有)及び発達障害(診断書無・配慮有)

( ) 内の平成19年度調査結果は発達障害(診断書有)についてのみ調査

発達障害					その他					実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者													区分		
支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			教職員 (校)	学生 (校)			謝金等について						報酬について									
実施校数 (校)	実施率 (%)	教職員 (校)			学生 (校)	外部 (校)	教職員 (校)					学生 (校)	外部 (校)	謝金等有 (校)	実施率 (%)	履修科目 (校)	実施率 (%)	謝金等無 (校)	実施率 (%)	外部 (校)	報酬有 (校)	実施率 (%)	報酬無 (校)	実施率 (%)			
																										実施校数 (校)	実施率 (%)
					1	1.3		1	1	53	9.8	21	16	8	50.0	1	6.3	9	56.3	34	30	88.2	5	14.7	1		
					(2)	(2.8)				(66)																	
2	2.0	2			2	2.6		1	2	69	12.7	55	19	14	73.7	1	5.3	6	31.6	9	9	100.0	1	11.1	2		
					(2)	(2.8)				(63)																	
1	1.0	1			2	2.6	1	1	1	93	17.1	86	12	7	58.3	1	8.3	6	50.0	4	3	75.0	1	25.0	3		
					(2)	(2.8)				(95)																	
1	1.0	1			5	6.6	1	4	1	64	11.8	37	47	18	38.3	2	4.3	31	66.0	6	3	50.0	3	50.0	4		
					(3)	(4.2)				(60)																	
					3	3.9	1	2	1	38	7.0	24	23	19	82.6	1	4.3	5	21.7	2	2	100.0			5		
					(35)																						
					1	1.3		1	1	77	14.2	6	25	20	80.0	1	4.0	5	20.0	65	61	93.8	4	6.2	6		
					(1)	(1.4)				(89)																	
5	5.0	2	2	1	8	10.5		8	3	211	38.9	24	185	141	76.2	7	3.8	47	25.4	62	55	88.7	7	11.3	7		
(2)	(6.1)				(6)	(8.3)				(238)																	
					4	5.3	1	4	3	92	16.9	21	75	62	82.7	4	5.3	14	18.7	24	22	91.7	2	8.3	8		
					(4)	(5.6)				(94)																	
2	2.0	2			2	2.6		2	1	37	6.8	18	21	18	85.7	1	4.8	4	19.0	8	8	100.0			9		
					(33)																						
22	22.0	12	13	1	5	6.6	1	4		59	10.9	26	38	29	76.3	1	2.6	9	23.7	3	2	66.7	1	33.3	10		
(3)	(9.1)				(3)	(4.2)				(65)																	
20	20.0	-	-	-	26	34.2	-	-	-	187	34.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	
(6)	(18.2)				(27)	(37.5)				(271)																	
9	9.0	-	-	-	14	18.4	-	-	-	137	25.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	
(6)	(18.2)				(7)	(9.7)				(180)																	
5	5.0	-	-	-	8	10.5	-	-	-	99	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	
(2)	(6.1)				(7)	(9.7)				(128)																	
16	16.0	-	-	-	12	15.8	-	-	-	164	30.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	
(10)	(30.3)				(9)	(12.5)				(206)																	
3	3.0	-	-	-	23	30.3	-	-	-	214	39.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	
(3)	(9.1)				(17)	(23.6)				(226)																	
25	25.0	-	-	-	24	31.6	-	-	-	255	47.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	
(14)	(42.4)				(26)	(36.1)				(321)																	
18	18.0	-	-	-	25	32.9	-	-	-	337	62.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	
(8)	(24.2)				(25)	(34.7)				(423)																	
					2	2.6	-	-	-	71	13.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	
(2)	(6.1)				(2)	(2.8)				(58)																	
2	2.0	-	-	-	11	14.5	-	-	-	223	41.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	
(2)	(6.1)				(13)	(18.1)				(247)																	
					1	1.3	-	-	-	45	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	
					(1)	(1.3)																					
3	3.0	-	-	-	5	6.6	-	-	-	62	11.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	
					(3)	(6.6)																					
32	32.0	-	-	-	16	21.1	-	-	-	99	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	
					(16)	(21.1)																					
100		36	16	3	76		14	13	6	543		221	233	174	74.7	11	4.7	98	42.1	136	126	92.6	23	16.9			
(33)					(72)					(485)																	

(2)-イ 授業に関する支援 (授業支援内容別・障害種別) (大学)

< 結果 >  
表22

区分	視覚障害					聴覚・言語障害					肢体不自由					病弱・虚弱				
	実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者		
			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部
(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	
1 点訳・墨訳	48 (60)	37.5 (42.6)	17	15	33	1 (1)	0.4 (0.4)		1	1	1	0.3		1	1	1	1.5		1	1
2 教材のテキストデータ化	47 (48)	36.7 (34.0)	36	16	8	12 (5)	4.8 (2.0)	10	3	2	8 (3)	2.7 (1.1)	6	2	2	1 (1)	1.5 (2.3)		1	1
3 教材の拡大	72 (74)	56.3 (52.5)	67	9	3	9 (6)	3.6 (2.4)	7	3	2	9 (3)	3.1 (1.1)	8	2	1	1	1.5		1	1
4 ガイドヘルプ	32 (24)	25.0 (17.0)	19	24	3	4 (3)	1.6 (1.2)	2	3	1	25 (26)	8.5 (9.4)	10	20	1	2	3.1		2	1
5 リーディングサービス	30 (30)	23.4 (21.3)	16	23	2	4 (3)	1.6 (1.2)	2	2	1	1 (1)	0.3 (0.4)		1	1	1	1.5		1	1
6 手話通訳	1 (1)	0.8 (0.7)		1	1	71 (79)	28.5 (31.3)	5	24	60	1	0.3		1	1	1	1.5		1	1
7 ノートテイク	18 (11)	14.1 (7.8)		18	3	165 (172)	66.3 (68.3)	15	149	45	31 (21)	10.5 (7.6)	1	27	7	1	1.5		1	1
8 パソコンテイク	6 (6)	4.7 (4.3)	1	5	2	71 (70)	28.5 (27.8)	12	60	21	12 (4)	4.1 (1.4)	2	9	3	1	1.5		1	1
9 ビデオ教材字幕付け	2 (1)	1.6 (0.7)		1	2	28 (26)	11.2 (10.3)	12	19	6	2	0.7	1	1	1	1	1.5		1	1
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	17 (14)	13.3 (9.9)	6	12		23 (21)	9.2 (8.3)	9	16		15 (18)	5.1 (6.5)	5	11		2 (1)	3.1 (2.3)	1	1	
11 試験時間延長・別室受験	80 (88)	62.5 (62.4)	-	-	-	17 (21)	6.8 (8.3)	-	-	-	113 (102)	38.4 (36.8)	-	-	-	16 (14)	24.6 (31.8)	-	-	-
12 解答方法配慮	67 (65)	52.3 (46.1)	-	-	-	23 (29)	9.2 (11.5)	-	-	-	72 (53)	24.5 (19.1)	-	-	-	6 (3)	9.2 (6.8)	-	-	-
13 パソコンの持込使用許可	41 (42)	32.0 (29.8)	-	-	-	30 (24)	12.0 (9.5)	-	-	-	48 (41)	16.3 (14.8)	-	-	-	4 (3)	6.2 (6.8)	-	-	-
14 注意事項等文書伝達	35 (37)	27.3 (26.2)	-	-	-	112 (100)	45.0 (39.7)	-	-	-	27 (21)	9.2 (7.6)	-	-	-	7 (7)	10.8 (15.9)	-	-	-
15 使用教室配慮	33 (22)	25.8 (15.6)	-	-	-	14 (20)	5.6 (7.9)	-	-	-	161 (134)	54.8 (48.4)	-	-	-	10 (6)	15.4 (13.6)	-	-	-
16 実技・実習配慮	52 (47)	40.6 (33.3)	-	-	-	63 (51)	25.3 (20.2)	-	-	-	125 (110)	42.5 (39.7)	-	-	-	36 (29)	55.4 (65.9)	-	-	-
17 教室内座席配慮	51 (48)	39.8 (34.0)	-	-	-	131 (118)	52.6 (46.8)	-	-	-	182 (162)	61.9 (58.5)	-	-	-	16 (12)	24.6 (27.3)	-	-	-
18 FM補聴器・マイク使用	1	0.8	-	-	-	57 (43)	22.9 (17.1)	-	-	-	2 (3)	0.7 (1.1)	-	-	-			-	-	-
19 専用机・イス・スペース確保	13 (19)	10.2 (13.5)	-	-	-	20 (12)	8.0 (4.8)	-	-	-	179 (176)	60.9 (63.5)	-	-	-	6 (2)	9.2 (4.5)	-	-	-
20 読み上げソフト使用	40	31.3	-	-	-			-	-	-	1	0.3	-	-	-			-	-	-
21 講義内容録音許可	29	22.7	-	-	-	20	8.0	-	-	-	19	6.5	-	-	-	3	4.6	-	-	-
22 休憩室の確保	11	8.6	-	-	-	11	4.4	-	-	-	58	19.7	-	-	-	17	26.2	-	-	-
実施校数	128 (141)		91	56	35	249 (252)		65	159	89	294 (277)		38	53	16	65 (44)		10	4	1

※各障害種別に授業支援内容は複数回答あり

※実施率:授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

※発達障害：発達障害(診断書有)及び発達障害(診断書無・配慮有)

( ) 内の平成19年度調査結果は発達障害(診断書有)についてのみ調査

発達障害					その他					実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者												区分		
		支援者					支援者					謝金等について						報酬について								
実施校数 (校)	実施率 (%)	教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)	実施校数 (校)	実施率 (%)	教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	謝金等有 (校)	実施率 (%)	履修科目 (校)	実施率 (%)	謝金等無 (校)	実施率 (%)	外部 (校)	報酬有 (校)	実施率 (%)	報酬無 (校)		実施率 (%)	
																										報酬有 (校)
					1	1.5		1	1	48	11.0	17	15	8	53.3	1	6.7	8	53.3	33	29	87.9	5	15.2	1	
					2	3.0				60	13.7	47	17	14	82.4	1	5.9	4	23.5	9	9	100.0	1	11.1	2	
1	1.2	1			2	3.0	1	1	1	84	19.2	78	11	7	63.6	1	9.1	5	45.5	4	3	75.0	1	25.0	3	
1	1.2	1			5	7.5	1	4	1	52	11.9	29	41	17	41.5	2	4.9	26	63.4	3	2	66.7	1	33.3	4	
					3	4.5	1	2	1	32	7.3	18	23	19	82.6	1	4.3	5	21.7	2	2	100.0			5	
					1	1.5		1	1	71	16.2	5	24	19	79.2	1	4.2	5	20.8	60	57	95.0	3	5.0	6	
4	4.9	2	2		8	11.9		8	3	187	42.8	18	167	132	79.0	6	3.6	39	23.4	51	46	90.2	5	9.8	7	
					4	6.0	1	4	3	81	18.5	16	66	56	84.8	4	6.1	11	16.7	23	21	91.3	2	8.7	8	
1	1.2	1			2	3.0		2	1	32	7.3	14	20	17	85.0	1	5.0	4	20.0	7	7	100.0			9	
19	23.5	10	12		5	7.5	1	4		51	11.7	21	36	28	77.8	1	2.8	8	22.2						10	
19	23.5	-	-	-	25	37.3	-	-	-	168	38.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
8	9.9	-	-	-	14	20.9	-	-	-	124	28.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
5	6.2	-	-	-	8	11.9	-	-	-	88	20.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
12	14.8	-	-	-	12	17.9	-	-	-	147	33.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
3	3.7	-	-	-	23	34.3	-	-	-	184	42.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
21	25.9	-	-	-	23	34.3	-	-	-	201	46.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
14	17.3	-	-	-	24	35.8	-	-	-	281	64.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
		-	-	-	2	3.0	-	-	-	61	14.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
1	1.2	-	-	-	11	16.4	-	-	-	194	44.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
		-	-	-	1	1.5	-	-	-	41	9.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
3	3.7	-	-	-	5	7.5	-	-	-	55	12.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
24	29.6	-	-	-	14	20.9	-	-	-	84	19.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
81		26	15	2	67		11	13	5	437		181	207	154	74.4	8	3.9	81	39.1	119	107	89.9	17	14.3		
(23)					(58)					(400)																

(2)-ウ 授業に関する支援 (授業支援内容別・障害種別) (短期大学(部))

< 結果 >  
表23

区分	視覚障害						聴覚・言語障害					肢体不自由					病弱・虚弱				
	実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			
			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部	
(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)		
1	点訳・墨訳	5 (3)	41.7 (50.0)	4	1	1															
2	教材のテキスト データ化	6 (3)	50.0 (50.0)	6			1 (1)	3.3 (2.9)		1											
3	教材の拡大	6 (3)	50.0 (50.0)	6			2 (2)	5.0 (5.9)			2 (2)	7.1 (10.0)	2								
4	ガイドヘルプ	5 (1)	41.7 (16.7)	4	2	1	1	3.3	1		2	7.1	1	1	1						
5	リーディング サービス	6 (1)	50.0 (16.7)	6																	
6	手話通訳						6 (8)	20.0 (23.5)	1	1	5										
7	ノートテイク	2	16.7			2	20 (24)	66.7 (70.6)	6	17	8	3 (1)	10.7 (5.0)		1	3					
8	パソコンテイク	1	8.3		1		9 (10)	30.0 (29.4)	4	7	1										
9	ビデオ教材 字幕付け						4 (6)	13.3 (17.6)	3	1	1										
10	チューター又はティーチング ・アシスタントの活用	3 (1)	25.0 (16.7)	2		1	2 (2)	6.7 (5.9)	1		1	3.6 (10.0)		1	1	10.0	1				
11	試験時間延長 ・別室受験	8 (4)	66.7 (66.7)	-	-	-	2 (2)	6.7 (5.9)	-	-	-	6 (4)	21.4 (20.0)	-	-	-	1 (1)	33.3	-	-	-
12	解答方法配慮	7 (4)	58.3 (66.7)	-	-	-	3 (6)	10.0 (17.6)	-	-	-	1 (5)	3.6 (25.0)	-	-	-		-	-	-	
13	パソコンの持込 使用許可	4 (3)	33.3 (50.0)	-	-	-	3 (2)	10.0 (5.9)	-	-	-			-	-	-		-	-	-	
14	注意事項等文書伝達	4 (1)	33.3 (16.7)	-	-	-	9 (19)	30.0 (55.9)	-	-	-	2 (2)	10.0 (10.0)	-	-	-	1	10.0	-	-	-
15	使用教室配慮	4 (2)	33.3 (33.3)	-	-	-	3 (2)	10.0 (5.9)	-	-	-	14 (12)	50.0 (60.0)	-	-	-	2 (2)	20.0 (66.7)	-	-	-
16	実技・実習配慮	4 (1)	33.3 (16.7)	-	-	-	8 (11)	26.7 (32.4)	-	-	-	16 (10)	57.1 (50.0)	-	-	-	5 (2)	50.0 (66.7)	-	-	-
17	教室内座席配慮	7 (4)	58.3 (66.7)	-	-	-	18 (23)	60.0 (67.6)	-	-	-	15 (9)	53.6 (45.0)	-	-	-	3 (1)	30.0 (33.3)	-	-	-
18	FM補聴器・マイク使 用	1 (1)	8.3 (16.7)	-	-	-	6 (3)	20.0 (8.8)	-	-	-	1 (1)	5.0 (5.0)	-	-	-		-	-	-	
19	専用机・イス ・スペース確保	2 (1)	16.7 (16.7)	-	-	-	2 (2)	6.7 (5.9)	-	-	-	12 (8)	42.9 (40.0)	-	-	-	1 (1)	10.0 (33.3)	-	-	-
20	読み上げソフト 使用	4	33.3	-	-	-			-	-	-			-	-	-		-	-	-	
21	講義内容録音許可	3	25.0	-	-	-	4	13.3	-	-	-			-	-	-		-	-	-	
22	休憩室の確保	1	8.3	-	-	-			-	-	-	2	7.1	-	-	-		-	-	-	
実施校数		12 (6)		10	3	4	30 (34)		10	18	10	28 (20)		5	3	4	10 (3)		1		

※各障害種別に授業支援内容は複数回答あり

※実施率:授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

※発達障害：発達障害(診断書有)及び発達障害(診断書無・配慮有)

( ) 内の平成19年度調査結果は発達障害(診断書有)についてのみ調査

発達障害					その他					支援者														区分					
実施校数		支援者			実施校数		支援者			実施校数	実施率	教職員	学生	謝金等について						外部	報酬について								
(校)	(%)	教職員	学生	外部	(校)	(%)	教職員	学生	外部					謝金等有	実施率	履修科目	実施率	謝金等無	実施率		外部	報酬有	実施率		報酬無	実施率			
(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)								
										5	7.1	4	1						1	100.0	1	1	100.0					1	
1	20.0	1								8	11.4	7	1						1	100.0									2
										7	10.0	7																	3
					(1)	(9.1)				8	11.4	6	3	1	33.3			2	66.7	2				2	100.0				4
										6	8.6	6																	5
										6	8.6	1	1	1	100.0					5	4	80.0	1	20.0					6
					(1)	(9.1)				22	31.4	6	17	9	52.9	1	5.9	7	41.2	10	8	80.0	2	20.0					7
										10	14.3	4	8	6	75.0			2	25.0	1	1	100.0							8
1	20.0	1								5	7.1	4	1	1	100.0					1	1	100.0							9
1	20.0	1			(1)	(9.1)				6	8.6	4							2	1	50.0	1	50.0						10
		-	-	-	1	16.7	-	-	-	14	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
		-	-	-	(1)	(9.1)				9	12.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
		-	-	-						7	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
		-	-	-						13	18.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
		-	-	-	(2)	(18.2)				19	27.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
		-	-	-	1	16.7	-	-	-	31	44.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
		-	-	-	(6)	(54.5)				36	51.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
		-	-	-	(2)	(18.2)				7	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
		-	-	-	(1)	(9.1)				16	22.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
		-	-	-						4	5.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
		-	-	-						7	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
2	40.0	-	-	-	2	33.3	-	-	-	7	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
5	(1)	3			6	(11)	3			70		29	22	11	50.0	2	9.1	11	50.0	14	11	78.6	6	42.9					

(2)-エ 授業に関する支援 (授業支援内容別・障害種別) (高等専門学校)

< 結果 >  
表24

区分	視覚障害					聴覚・言語障害					肢体不自由					病弱・虚弱				
	実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者		
			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部
(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	
1 点訳・墨訳																				
2 教材のテキストデータ化										1	5.3	1	1							
3 教材の拡大	1 (1)	50.0 (50.0)	1							1 (2)	5.3 (13.3)		1							
4 ガイドヘルプ										4 (3)	21.1 (20.0)	2	3	1						
5 リーディングサービス																				
6 手話通訳																				
7 ノートテイク										1 (1)	5.3 (6.7)		1							
8 パソコンテイク										1	5.3	1	1							
9 ビデオ教材字幕付け																				
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用																				
11 試験時間延長・別室受験	1 (1)	50.0 (50.0)	-	-	-	1	9.1	-	-	2 (1)	10.5 (6.7)	-	-	-			-	-	-	
12 解答方法配慮			-	-	-			-	-	3 (2)	15.8 (13.3)	-	-	-			-	-	-	
13 パソコンの持込使用許可	1 (1)	50.0 (50.0)	-	-	-			-	-	3 (3)	15.8 (20.0)	-	-	-			-	-	-	
14 注意事項等文書伝達			-	-	-			-	-			-	-	-			-	-	-	
15 使用教室配慮			-	-	-			-	-	10 (6)	52.6 (40.0)	-	-	-	1	11.1	-	-	-	
16 実技・実習配慮	1 (1)	50.0 (50.0)	-	-	-	1 (2)	9.1 (28.6)	-	-	17 (12)	89.5 (80.0)	-	-	-	8 (5)	88.9 (83.3)	-	-	-	
17 教室内座席配慮	2 (2)	100.0 (100.0)	-	-	-	8 (3)	72.7 (42.9)	-	-	11 (8)	57.9 (53.3)	-	-	-			-	-	-	
18 FM補聴器・マイク使用			-	-	-	3 (3)	27.3 (42.9)	-	-			-	-	-			-	-	-	
19 専用机・イス・スペース確保	1 (1)	50.0 (50.0)	-	-	-			-	-	12 (10)	63.2 (66.7)	-	-	-			-	-	-	
20 読み上げソフト使用			-	-	-			-	-			-	-	-			-	-	-	
21 講義内容録音許可			-	-	-			-	-			-	-	-			-	-	-	
22 休憩室の確保			-	-	-			-	-	2	10.5	-	-	-			-	-	-	
実施校数	2 (2)		1			11 (7)		1		19 (15)		3	3		9 (6)					

※各障害種別に授業支援内容は複数回答あり

※実施率:授業支援実施校数÷実施校数の計×100%



※発達障害：発達障害(診断書有)及び発達障害(診断書無・配慮有)

( ) 内の平成19年度調査結果は発達障害(診断書有)についてのみ調査

発達障害					その他					支援者													区分		
		支援者					支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	教職員 (校)	学生 (校)	謝金等について						報酬について					
実施校数 (校)	実施率 (%)	教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)	実施校数 (校)	実施率 (%)	教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)					謝金等有 (校)	実施率 (%)	履修科目 (校)	実施率 (%)	謝金等無 (校)	実施率 (%)	外部 (校)	報酬有 (校)	実施率 (%)		報酬無 (校)	実施率 (%)
																							1		
										1	2.8	1	1					1	100.0				2		
										2	5.6	1	1					1	100.0				3		
										4	11.1	2	3					3	100.0	1	1	100.0	4		
										(3)													5		
																							6		
																							7		
1	7.1			1						2	5.6		1					1	100.0	1	1	100.0	8		
(1)	(11.1)									1	2.8	1	1					1	100.0				9		
																							10		
2	14.3	1	1	1						2	5.6	1	1	1	100.0				1	1	100.0	11			
(2)	(22.2)									(2)													12		
1	7.1	-	-	-						5	13.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13		
(2)	(22.2)									(4)													14		
1	7.1	-	-	-						4	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15		
(2)	(22.2)									(4)													16		
		-	-	-						4	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17		
										(4)													18		
4	28.6	-	-	-						4	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19		
(4)	(44.4)									(4)													20		
(1)	(11.1)									11	30.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21		
										(7)													22		
4	28.6	-	-	-	(2)	(66.7)				23	63.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23		
(5)	(55.6)									(27)													24		
4	28.6	-	-	-	1	33.3				20	55.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25		
(2)	(22.2)									(15)													26		
		-	-	-						3	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27		
										(3)													28		
1	7.1	-	-	-						13	36.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29		
		-	-	-						(11)													30		
		-	-	-																			31		
																							32		
6	42.9	-	-	-						8	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33		
																							34		
14		7	1	1	3				1	36		11	4	1	25.0			3	75.0	3	3	100.0	35		
(9)					(3)					(24)													36		

### (3) 障害種別詳細

#### ア. 視覚障害

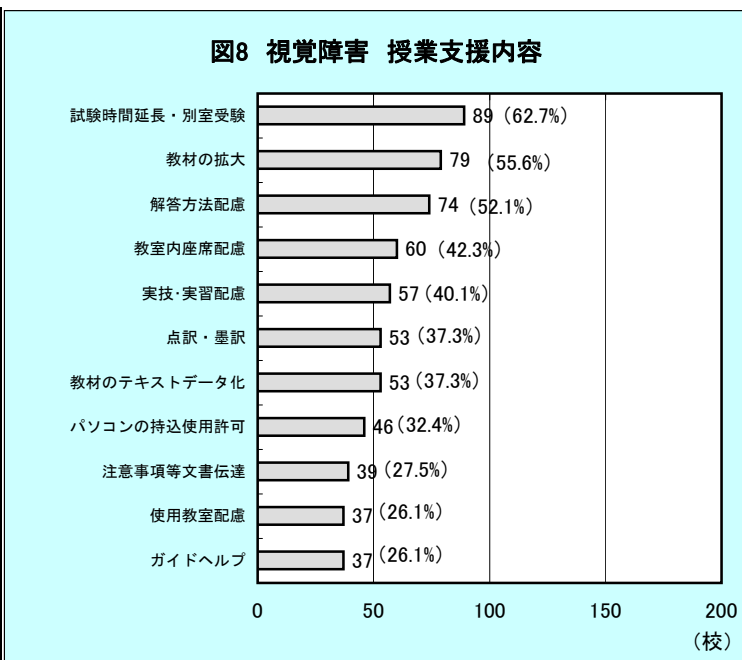
##### < 概要 >

視覚障害学生に対する授業支援実施校142校中、授業支援内容の多い順に「試験時間延長・別室受験」(89校 62.7%)、「教材の拡大」(79校 55.6%)、「解答方法配慮」(74校 52.1%)となっている。

##### < 結果 >

表25

授業支援内容	実施校数	実施率
試験時間延長・別室受験	89	62.7%
教材の拡大	79	55.6%
解答方法配慮	74	52.1%
教室内座席配慮	60	42.3%
実技・実習配慮	57	40.1%
点訳・墨訳	53	37.3%
教材のテキストデータ化	53	37.3%
パソコンの持込使用許可	46	32.4%
注意事項等文書伝達	39	27.5%
使用教室配慮	37	26.1%
ガイドヘルプ	37	26.1%



※複数回答あり

#### イ. 聴覚・言語障害

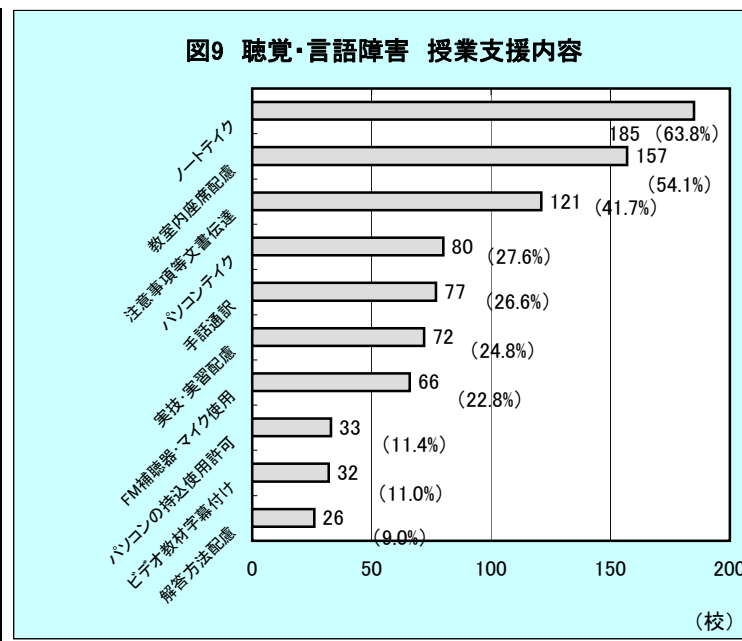
##### < 概要 >

聴覚・言語障害学生に対する授業支援実施校290校中、授業支援内容の多い順に「ノートテイク」(185校 63.8%)、「教室内座席配慮」(157校 54.1%)、「注意事項等文書伝達」(121校 41.7%)となっている。

##### < 結果 >

表26

授業支援内容	実施校数	実施率
ノートテイク	185	63.8%
教室内座席配慮	157	54.1%
注意事項等文書伝達	121	41.7%
パソコンテイク	80	27.6%
手話通訳	77	26.6%
実技・実習配慮	72	24.8%
FM補聴器・マイク使用	66	22.8%
パソコンの持込使用許可	33	11.4%
ビデオ教材字幕付け	32	11.0%
解答方法配慮	26	9.0%



※複数回答あり

## ウ. 肢体不自由

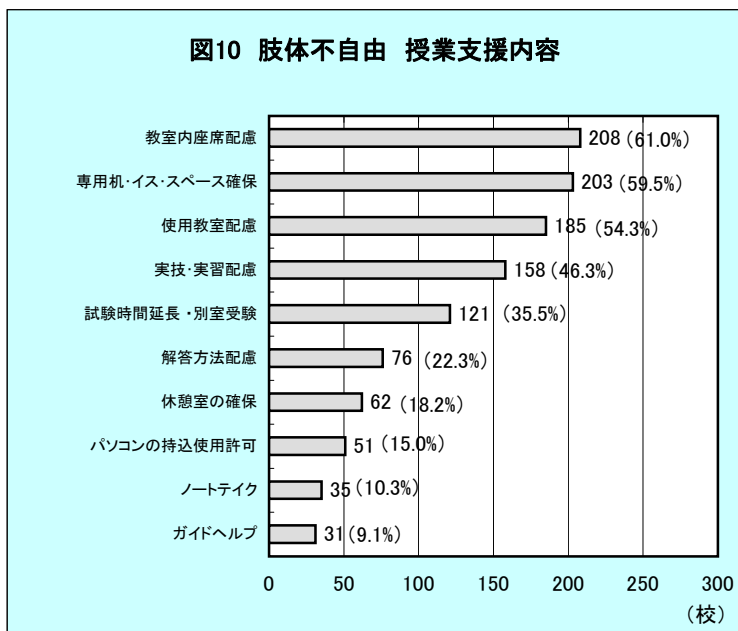
### < 概要 >

肢体不自由学生に対する授業支援実施校341校中、授業支援内容の多い順に「教室内座席配慮」(208校 61.0%)、「専用機・イス・スペース確保」(203校 59.5%)、「使用教室配慮」(185校 54.3%)となっている。

### < 結果 >

表27

授業支援内容	実施校数	実施率
教室内座席配慮	208	61.0%
専用機・イス・スペース確保	203	59.5%
使用教室配慮	185	54.3%
実技・実習配慮	158	46.3%
試験時間延長・別室受験	121	35.5%
解答方法配慮	76	22.3%
休憩室の確保	62	18.2%
パソコンの持込使用許可	51	15.0%
ノートテイク	35	10.3%
ガイドヘルプ	31	9.1%



※複数回答あり

## エ. 病弱・虚弱

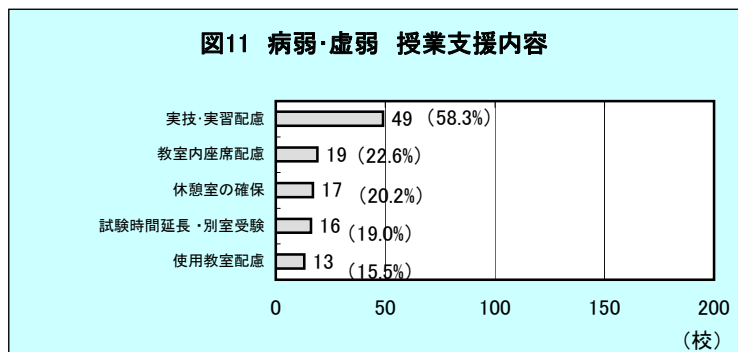
### < 概要 >

病弱・虚弱学生に対する授業支援実施校84校中、授業支援内容の多い順に「実技・実習配慮」(49校 58.3%)、「教室内座席配慮」(19校 22.6%)、「休憩室の確保」(17校 20.2%)となっている。

### < 結果 >

表28

授業支援内容	実施校数	実施率
実技・実習配慮	49	58.3%
教室内座席配慮	19	22.6%
休憩室の確保	17	20.2%
試験時間延長・別室受験	16	19.0%
使用教室配慮	13	15.5%



※複数回答あり

## オ. 発達障害

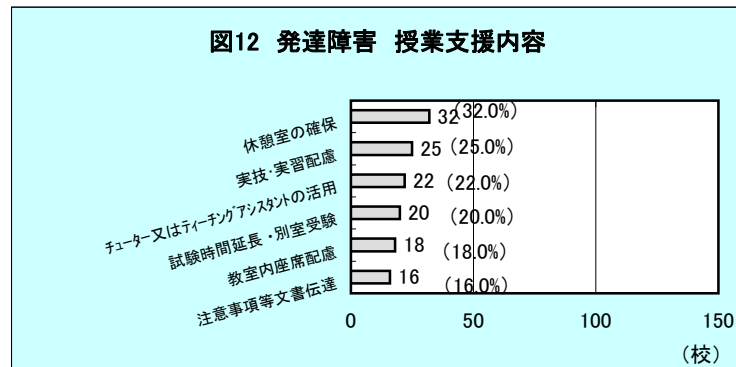
### < 概要 >

発達障害学生に対する授業支援実施校100校中、授業支援内容の多い順に「休憩室の確保」(32校 32.0%)、「実技・実習配慮」(25校 25.0%)、「チューター又はティーチングアシスタントの活用」(22校 22.0%)となっている。

### < 結果 >

表29

授業支援内容	実施校数	実施率
休憩室の確保	32	32.0%
実技・実習配慮	25	25.0%
チューター又はティーチングアシスタントの活用	22	22.0%
試験時間延長・別室受験	20	20.0%
教室内座席配慮	18	18.0%
注意事項等文書伝達	16	16.0%



※複数回答あり

※発達障害：発達障害（診断書有）及び発達障害（診断書無・配慮有）

## 7. 障害学生支援に関わる研修・啓発活動実施状況

### (1) 学校種別・障害学生在籍者数別・支援障害学生在籍者数別

#### < 概要 >

「障害学生支援に関わる教職員に対する研修や、教職員・学生に対する啓発活動（以下「研修啓発活動」という。）などを行っている」と回答した学校は542校（前年度559校）で、活動実施率（＝研修啓発活動実施校数÷回答校数×100）は44.5%（同45.4%）であった。

研修啓発活動の実施率は、障害学生の在籍者数別には、「21人以上」82.7%（同78.0%）、「11～20人」75.3%（同72.0%）、「6～10人」65.5%（同64.6%）であった。

また、支援障害学生の在籍者数別には、「21人以上」85.0%（同94.1%）、「11～20人」83.3%（同85.3%）であった。

#### < 結果 >

表30

区分	学校種別	障害学生			支援障害学生		
		学校数 (校)	研修啓発活動 実施校数 (校)	活動 実施率 (%)	学校数 (校)	研修啓発活動 実施校数 (校)	活動 実施率 (%)
21人以上	大学	51 (40)	42 (31)	82.4 (77.5)	20 (16)	17 (15)	85.0 (93.8)
	短期大学(部)	1 (1)	1 (1)	100.0 (100.0)	- (1)	- (1)	- (100.0)
	高等専門学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	小計	52 (41)	43 (32)	82.7 (78.0)	20 (17)	17 (16)	85.0 (94.1)
11～20人	大学	79 (78)	59 (57)	74.7 (73.1)	35 (33)	29 (28)	82.9 (84.8)
	短期大学(部)	1 (2)	1 (0)	100.0 (0.0)	1 (-)	1 (-)	100.0 (-)
	高等専門学校	1 (2)	1 (2)	100.0 (100.0)	- (1)	- (1)	- (100.0)
	小計	81 (82)	61 (59)	75.3 (72.0)	36 (34)	30 (29)	83.3 (85.3)
6～10人	大学	100 (122)	63 (79)	63.0 (64.8)	70 (64)	54 (49)	77.1 (76.6)
	短期大学(部)	3 (4)	3 (3)	100.0 (75.0)	2 (1)	2 (0)	100.0 (0.0)
	高等専門学校	10 (4)	8 (2)	80.0 (50.0)	6 (1)	6 (0)	100.0 (0.0)
	小計	113 (130)	74 (84)	65.5 (64.6)	78 (66)	62 (49)	79.5 (74.2)
2～5人	大学	224 (207)	110 (105)	49.1 (50.7)	218 (202)	131 (125)	60.1 (61.9)
	短期大学(部)	58 (61)	28 (29)	48.3 (47.5)	30 (22)	16 (15)	53.3 (68.2)
	高等専門学校	22 (21)	13 (16)	59.1 (76.2)	17 (15)	10 (11)	58.8 (73.3)
	小計	304 (289)	151 (150)	49.7 (51.9)	265 (239)	157 (151)	59.2 (63.2)
1人	大学	94 (92)	31 (24)	33.0 (26.1)	107 (109)	47 (40)	43.9 (36.7)
	短期大学(部)	62 (64)	28 (28)	45.2 (43.8)	48 (45)	31 (27)	64.6 (60.0)
	高等専門学校	13 (12)	8 (6)	61.5 (50.0)	13 (9)	8 (5)	61.5 (55.6)
	小計	169 (168)	67 (58)	39.6 (34.5)	168 (163)	86 (72)	51.2 (44.2)
0人	大学	209 (215)	51 (57)	24.4 (26.5)	307 (330)	78 (96)	25.4 (29.1)
	短期大学(部)	272 (280)	88 (112)	32.4 (40.0)	316 (343)	99 (130)	31.3 (37.9)
	高等専門学校	18 (25)	7 (7)	38.9 (28.0)	28 (38)	13 (16)	46.4 (42.1)
	小計	499 (520)	146 (176)	29.3 (33.8)	651 (711)	190 (242)	29.2 (34.0)
大学		757 (754)	356 (353)	47.0 (46.8)	757 (754)	356 (353)	47.0 (46.8)
短期大学(部)		397 (412)	149 (173)	37.5 (42.0)	397 (412)	149 (173)	37.5 (42.0)
高等専門学校		64 (64)	37 (33)	57.8 (51.6)	64 (64)	37 (33)	57.8 (51.6)
計		1,218 (1,230)	542 (559)	44.5 (45.4)	1,218 (1,230)	542 (559)	44.5 (45.4)

※活動実施率:研修啓発活動実施校数÷回答校数×100(%)

## (2) 学校種別・内容別

### < 概要 >

研修啓発活動のうち最も実施されている活動は「関連する講義（ボランティア論など）の開講」で269校（前年度291校）で行なわれている。これは研修啓発活動実施校542校（同559校）の49.6%（同52.1%）で、全体の22.1%（同23.7%）であった。

「教職員向け各種研修（FD研修、SD研修など）の実施」は167校（同164校）で実施されており、これは研修啓発活動実施校全体の30.8%（同29.3%）で、回答校全体の13.7%（同13.3%）であった。

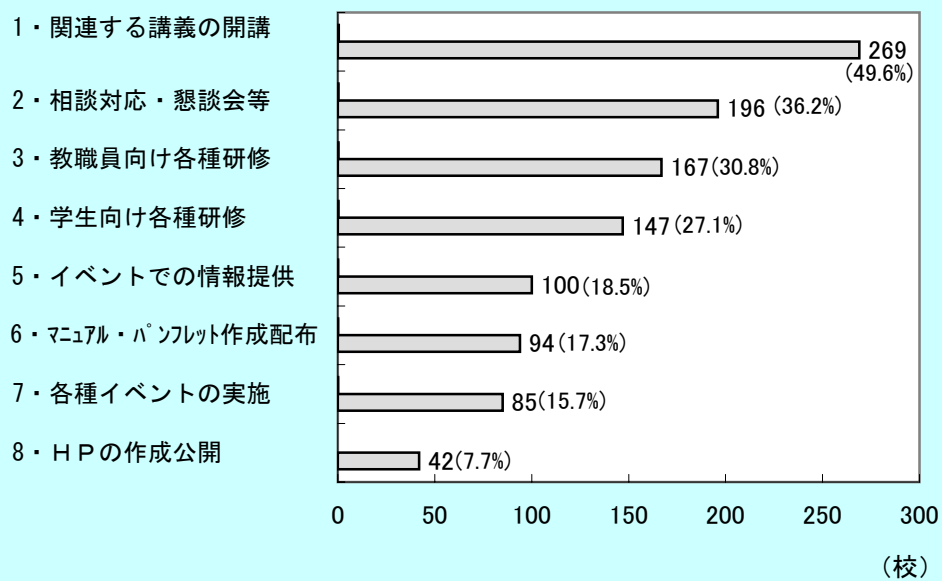
### < 結果 >

表31

区 分		大学 (校)	短期 大学 (部) (校)	高等 専門 学校 (校)	実施 校数 (校)	実施校 (542校) の実施率 (%)	回答校 (1,218校) の実施率 (%)
1	関連する講義（ボランティア論など）の開講	190 (191)	78 (99)	1 (1)	269 (291)	49.6 (52.1)	22.1 (23.7)
2	障害学生と支援スタッフ（支援を行う学生など）に対する相談対応、懇談会等の実施	151 (174)	32 (57)	13 (15)	196 (246)	36.2 (44.0)	16.1 (20.0)
3	教職員向け各種研修（FD研修、SD研修など）の実施	99 (83)	39 (54)	29 (27)	167 (164)	30.8 (29.3)	13.7 (13.3)
4	学生向け各種研修（ノートテイカー養成研修など）の実施	129 (130)	18 (42)	0 (1)	147 (173)	27.1 (30.9)	12.1 (14.1)
5	入学式等の学内イベントでの障害学生修学支援についての情報提供	75 (-)	24 (-)	1 (-)	100 (-)	18.5 (-)	8.2 (-)
6	支援マニュアル、パンフレット等の作成配布	73 (83)	17 (24)	4 (4)	94 (111)	17.3 (19.9)	7.7 (9.0)
7	各種イベント（障害体験講座、講演など）の実施	62 (75)	14 (32)	9 (5)	85 (112)	15.7 (20.0)	7.0 (9.1)
8	ホームページで障害学生修学支援情報の公開	37 (24)	3 (2)	2 (0)	42 (26)	7.7 (4.7)	3.4 (2.1)

※複数回答あり

図13 研修啓発活動実施状況



※研修啓発活動実施校542校のうち  
※複数回答あり

## 8. 入学時に障害を理由とする特別な措置を行った入学者数等

### (1) 課程別

#### < 概要 >

平成20年度入試(平成20年4月入学者)の際に特別な措置を行なった受験者数は1,958人(前年度1,744人)であった。

そのうち、合格者は920人(同803人)、入学者は688人(同628人)であった。

#### < 結果 >

表32

区 分		受験者 (人)	合格者 (人)	入学者 (人)
大学	学部(通学)	1,800 (1,566)	795 (662)	571 (498)
	学部(通信)	65 (52)	65 (52)	65 (52)
	大学院(通学)	46 (72)	29 (50)	24 (46)
	大学院(通信)	13 (4)	3 (1)	3 (1)
	専攻科	3 (3)	2 (2)	2 (2)
	小計	1,927 (1,697)	894 (767)	665 (599)
短期大学(部)	学科(通学)	23 (39)	21 (34)	18 (27)
	学科(通信)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	専攻科	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	小計	23 (39)	21 (34)	18 (27)
高等専門学校	学科(通学)	8 (7)	5 (1)	5 (1)
	専攻科	0 (1)	0 (1)	0 (1)
	小計	8 (8)	5 (2)	5 (2)
計		1,958 (1,744)	920 (803)	688 (628)



(2)障害を理由とする特別措置の申請等（障害種別・学校種別）

< 概要 >

平成20年度入学者のうち、特別措置により入学した障害学生数は688人(前年度628人)であった。AO入試、推薦入試及び障害者特別入試の特別入試により入学した障害学生数は325人(同277人)、特別入試以外の入試により入学した障害学生数は269人(同249人)であった。

学種別には、大学665人(同599人)、短期大学18人(同27人)、高等専門学校5人(同2人)であった。

< 結果 >

表33

区分	学部・学科（通学）							学部・学科 （通信）	大学院 （通学）	大学院 （通信）	専攻科	計	
	特別入試				小計	以特別 の入試	小計						
	AO 入試	推薦 入試	特別 障害 者 入 試	小計									
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
大学	視覚障害	盲	5 (2)	5 (10)	2 (2)	12 (14)	3 (4)	15 (18)	4 (13)	5 (3)	2 (0)	0 (0)	26 (34)
		弱視	16 (14)	20 (19)	0 (1)	36 (34)	31 (35)	67 (69)	4 (1)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	72 (73)
	聴覚・ 言語障害	聾	11 (6)	49 (40)	4 (7)	64 (53)	41 (36)	105 (89)	3 (0)	1 (6)	0 (0)	0 (0)	109 (95)
		難聴	18 (16)	40 (37)	2 (5)	60 (58)	49 (67)	109 (125)	21 (1)	4 (7)	0 (0)	2 (1)	136 (134)
	肢体 不自由	言語障害のみ	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
		上肢機能障害	2 (0)	2 (3)	0 (0)	4 (3)	7 (2)	11 (5)	6 (1)	1 (3)	1 (0)	0 (0)	19 (9)
		下肢機能障害	14 (12)	12 (27)	1 (1)	27 (40)	36 (25)	63 (65)	8 (9)	2 (11)	0 (0)	0 (1)	73 (86)
		上下肢機能障害	14 (8)	19 (16)	3 (2)	36 (26)	9 (16)	45 (42)	2 (0)	5 (7)	0 (1)	0 (0)	52 (50)
	他の機能障害	3 (2)	8 (0)	2 (0)	13 (2)	8 (4)	21 (6)	4 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	27 (9)	
	重複	5 (4)	4 (4)	0 (0)	9 (8)	1 (6)	10 (14)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (15)	
	病弱・虚弱	1 (1)	21 (3)	1 (3)	23 (7)	59 (21)	82 (28)	12 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	97 (28)	
	発達障害 (診断書有)	LD	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
		ADHD	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
		高機能自閉症等	1 (0)	2 (1)	0 (0)	3 (1)	2 (2)	5 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (3)
	その他	1 (1)	15 (3)	0 (0)	16 (4)	16 (25)	32 (29)	0 (27)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	32 (58)	
	小計	92 (67)	201 (164)	15 (21)	308 (252)	263 (246)	571 (498)	65 (52)	24 (46)	3 (1)	2 (2)	665 (599)	
短期大学 (部)	視覚障害	盲	0 (0)	1 (3)	0 (0)	1 (3)	0 (0)	1 (3)	0 (0)	-	-	0 (0)	1 (3)
		弱視	0 (0)	3 (1)	0 (0)	3 (1)	2 (2)	5 (3)	0 (0)	-	-	0 (0)	5 (3)
	聴覚・ 言語障害	聾	1 (2)	0 (2)	0 (0)	1 (4)	0 (0)	1 (4)	0 (0)	-	-	0 (0)	1 (4)
		難聴	3 (3)	3 (4)	0 (1)	6 (8)	0 (0)	6 (8)	0 (0)	-	-	0 (0)	6 (8)
	肢体 不自由	言語障害のみ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	0 (0)	0 (0)
		上肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	0 (0)	0 (0)
		下肢機能障害	1 (1)	1 (1)	1 (0)	3 (2)	0 (0)	3 (2)	0 (0)	-	-	0 (0)	3 (2)
		上下肢機能障害	0 (1)	1 (3)	0 (0)	1 (4)	1 (0)	2 (4)	0 (0)	-	-	0 (0)	2 (4)
	他の機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	0 (0)	0 (0)	
	重複	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	-	-	0 (0)	0 (1)	
	病弱・虚弱	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	-	-	0 (0)	0 (1)	
	発達障害 (診断書有)	LD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	0 (0)	0 (0)
		高機能自閉症等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	0 (0)	0 (0)
	その他	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	-	-	0 (0)	0 (1)	
	小計	5 (8)	9 (15)	1 (1)	15 (24)	3 (3)	18 (27)	0 (0)	-	-	0 (0)	18 (27)	
高等専門学校	視覚障害	盲	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)
		弱視	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)
	聴覚・ 言語障害	聾	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)
		難聴	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	-	-	-	0 (0)	3 (0)
	肢体 不自由	言語障害のみ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)
		上肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)
		下肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (1)	0 (1)
		上下肢機能障害	0 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	-	-	-	0 (0)	1 (1)
	他の機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	
	重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	
	病弱・虚弱	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	
	発達障害 (診断書有)	LD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)
		高機能自閉症等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	-	-	-	0 (0)	1 (0)
	その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	
	小計	0 (0)	2 (0)	0 (1)	2 (1)	3 (0)	5 (1)	-	-	-	0 (1)	5 (2)	
計	97 (75)	212 (179)	16 (23)	325 (277)	269 (249)	594 (526)	65 (52)	24 (46)	3 (1)	2 (3)	688 (628)		

## 9. 障害学生の卒業後の進路

### 進路状況（学校種別・障害種別）

#### < 概要 >

平成19年5月1日に大学学部の通学制、短期大学(部)学科の通学制、高等専門学校の学科の最高年次に在籍していた障害学生1,404人(前年度1,217人)のうち、平成19年度卒業者は1,070人(同1,005人)であった。そのうち、大学院進学者57人(同72人)、大学学部進学者32人(同67人)、大学院等への進学者のうち就職もしている者を加えた全就職者数は652人(同521人)であった。

#### < 結果 >

表34

区分	最高年次障害学生数 平成19年5月1日現在 (人)	平成19年度卒業の障害学生数 平成20年3月31日まで (人)	平成19年度卒業した障害学生の進路状況 (平成20年5月1日まで)															
			進学							就職者(左記を除く) (人)	臨床研修医(予定者を含む) (人)	専修学校・教育訓練機関等 (人)	医療・福祉施設入所 (人)	一時的な職に就いた者 (人)	左記以外の者 (人)	死亡・不詳の者 (人)	計 (人)	
			大学院研究科 (人)	大学学部 (人)	短期大学本科 (人)	専攻科 (人)	別科 (人)	うち就職している者 (人)										
大学	視覚障害	40	26	2	0	0	0	0	0	0	7	0	3	0	1	9	4	26
	弱視	88	42	3	4	0	0	0	0	0	17	1	3	0	1	12	1	42
	聴覚・言語障害	53	48	0	2	0	1	0	1	31	0	1	1	2	10	0	48	
	難聴	158	140	4	2	0	0	0	2	99	1	1	0	1	27	5	140	
	言語障害のみ	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	上肢機能障害	59	46	4	0	0	0	0	0	31	0	1	0	0	8	2	46	
	下肢機能障害	218	161	15	3	0	0	1	3	96	0	3	1	2	34	6	161	
	上下肢機能障害	170	120	4	3	0	0	0	1	58	0	6	2	6	36	5	120	
	他の機能障害	85	45	8	0	1	0	0	0	19	0	0	1	1	14	1	45	
	重複	19	11	1	0	0	0	0	0	7	0	1	0	0	2	0	11	
	病弱・虚弱	198	160	11	1	1	0	0	2	117	0	5	1	3	18	3	160	
	発達障害(診断書有)	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	LD	5	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4	
	ADHD	27	19	2	0	0	0	0	0	9	0	2	0	0	6	0	19	
	高機能自閉症等	27	21	3	0	0	0	0	0	5	0	0	4	0	9	0	21	
その他	27	21	3	0	0	0	0	0	5	0	0	4	0	9	0	21		
小計	1,151 (928)	845 (765)	57 (72)	16 (46)	1 (1)	1 (1)	1 (-)	9 (24)	497 (368)	2 (1)	26 (20)	10 (7)	17 (19)	189 (230)	27 (-)	845 (765)		
短期大学(部)	視覚障害	7	7	-	1	0	0	0	0	4	-	0	0	0	2	0	7	
	弱視	37	27	-	1	1	0	0	0	17	-	0	0	0	8	0	27	
	聴覚・言語障害	69	62	-	3	0	0	0	0	53	-	1	0	0	5	0	62	
	難聴	33	29	-	0	3	0	0	1	23	-	1	0	1	1	0	29	
	言語障害のみ	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
	上肢機能障害	6	6	-	0	0	0	0	0	3	-	0	0	1	1	1	6	
	下肢機能障害	18	16	-	3	2	1	0	2	5	-	0	1	0	4	0	16	
	上下肢機能障害	7	6	-	1	0	0	1	0	2	-	0	0	1	1	0	6	
	他の機能障害	5	4	-	0	0	0	0	0	3	-	0	0	0	1	0	4	
	重複	3	3	-	0	0	0	0	0	1	-	0	0	1	1	0	3	
	病弱・虚弱	39	37	-	2	0	0	0	0	24	-	0	0	1	7	3	37	
	発達障害(診断書有)	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
	LD	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
	ADHD	2	2	-	1	0	0	0	0	0	-	0	0	1	0	0	2	
	高機能自閉症等	14	14	-	0	0	0	1	0	5	-	2	0	0	6	0	14	
その他	14	14	-	0	0	0	1	0	5	-	2	0	0	6	0	14		
小計	240 (273)	213 (224)	- (-)	12 (19)	6 (9)	1 (5)	2 (-)	3 (6)	140 (115)	- (-)	4 (6)	1 (16)	6 (10)	37 (44)	4 (-)	213 (224)		
高等専門学校	視覚障害	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
	弱視	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
	聴覚・言語障害	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
	難聴	2	2	-	0	0	1	0	0	1	-	0	0	0	0	0	2	
	言語障害のみ	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
	上肢機能障害	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
	下肢機能障害	1	1	-	1	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	
	上下肢機能障害	1	1	-	0	0	1	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	
	他の機能障害	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
	重複	1	1	-	0	0	0	0	0	1	-	0	0	0	0	0	1	
	病弱・虚弱	5	5	-	1	0	2	0	0	1	-	0	0	0	1	0	5	
	発達障害(診断書有)	1	1	-	1	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	
	LD	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
	ADHD	1	1	-	1	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	
	高機能自閉症等	1	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
その他	1	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0		
小計	13 (16)	12 (16)	- (-)	4 (2)	0 (0)	4 (8)	0 (-)	0 (0)	3 (6)	- (-)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (-)	12 (16)		
計	1,404 (1,217)	1,070 (1,005)	57 (72)	32 (67)	8 (10)	6 (14)	3 (-)	12 (30)	640 (489)	2 (1)	30 (26)	11 (23)	23 (29)	227 (274)	31 (-)	1,070 (1,005)		

## 10. 発達障害学生支援状況（一部再掲）

### (1)-ア 発達障害学生数（学校種別）

#### < 概要 >

発達障害（診断書有）学生は、299人で、内訳は「LD」31人、「ADHD」49人、「高機能自閉症等」219人であった。発達障害（診断書無・配慮有）学生は、515人で、内訳は「LD」35人、「ADHD」115人、「高機能自閉症等」365人であった。また「発達障害（診断書有）」299人と、「発達障害（診断書無・配慮有）」515人を合計した人数は、814人であった。

#### < 結果 >

表35

区 分		大学 (人)	短期大学 (部) (人)	高等 専門学校 (人)	計 (人)	構成比 (%)
発達障害 (診断書 有)再掲	LD	27	0	4	31	10.4
	ADHD	35	1	13	49	16.4
	高機能自閉症等	175	10	34	219	73.2
	小計	237	11	51	299	100.0
発達障害 (診断書 無・配慮 有)	LD	26	6	3	35	6.8
	ADHD	99	11	5	115	22.3
	高機能自閉症等	295	16	54	365	70.9
	小計	420	33	62	515	100.0
計		657	44	113	814	-

## (1)-イ 発達障害学生数（学科（専攻）別）

## &lt; 概要 &gt;

発達障害（診断書有）学生及び発達障害（診断書無・配慮有）学生の学科（専攻）別在籍状況は以下のとおりである。

## &lt; 結果 &gt;

表36

区 分	発達障害（診断書有）再掲					発達障害（診断書無・配慮有）					計 (人)	
	L D	A D H D	自 高 閉 機 能 等	小 計	構 成 比	L D	A D H D	自 高 閉 機 能 等	小 計	構 成 比		
	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)		
大 学	人文科学	12	7	55	74	31.2	9	6	79	94	22.4	168
	社会科学	7	10	49	66	27.8	8	67	85	160	38.1	226
	理学	2	3	17	22	9.3	0	4	20	24	5.7	46
	工学	2	6	29	37	15.6	6	7	53	66	15.7	103
	農学	0	0	4	4	1.7	1	4	13	18	4.3	22
	保健(医・歯学)	0	0	2	2	0.8	0	0	3	3	0.7	5
	保健(医・歯学を除く)	1	1	2	4	1.7	0	1	7	8	1.9	12
	商船	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0
	家政	0	1	2	3	1.3	0	1	7	8	1.9	11
	教育	1	2	4	7	3.0	1	1	2	4	1.0	11
	芸術	2	0	9	11	4.6	0	1	8	9	2.1	20
	その他	0	5	2	7	3.0	1	7	18	26	6.2	33
小計	27	35	175	237	100.0	26	99	295	420	100.0	657	
短 期 大 学 ( 部 )	人文	0	0	3	3	27.3	1	0	1	2	6.1	5
	社会	0	0	2	2	18.2	3	4	0	7	21.2	9
	教養	0	0	0	0	0.0	0	0	1	1	3.0	1
	工業	0	0	1	1	9.1	0	0	0	0	0.0	1
	農業	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0
	保健	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0
	家政	0	1	2	3	27.3	0	2	5	7	21.2	10
	教育	0	0	0	0	0.0	2	3	3	8	24.2	8
	芸術	0	0	1	1	9.1	0	1	4	5	15.2	6
	その他	0	0	1	1	9.1	0	1	2	3	9.1	4
	小計	0	1	10	11	100.0	6	11	16	33	100.0	44
高 等 専 門 学 校	社会	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0
	工業	4	13	34	51	100.0	3	5	54	62	100.0	113
	商船	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0
	芸術	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0
	小計	4	13	34	51	100.0	3	5	54	62	100.0	113
計	31	49	219	299	-	35	115	365	515	-	814	

## (2) 発達障害学生在籍学校数（学校種別）

### < 概要 >

「発達障害（診断書有）学生が1人以上在籍している」と回答のあった学校は157校で、「発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している」と回答のあった学校は144校であった。また、「発達障害（診断書有）学生又は、発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している」と回答のあった学校は244校で、全体の20.0%であった。

### < 結果 >

表37

区 分		大学 (校)	短期大学 (部) (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
発達障害 (診断書有) 再掲	LD	22	0	4	26
	ADHD	29	1	11	41
	高機能自閉症等	96	10	17	123
	発達障害(診断書有) 学生が1人以上在籍 する学校数	122	11	24	157
発達障害 (診断書 無・配慮 有)	LD	22	4	3	29
	ADHD	31	6	3	40
	高機能自閉症等	99	9	13	121
	発達障害(診断無・ 配慮有)学生が1人 以上在籍する学校	115	15	14	144
発達障害（診断書有）学生又は 発達障害（診断書無・配慮有） 学生が1人以上在籍する学校数		189	24	31	244
学校数		757	397	64	1,218
発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生 が1人以上在籍する学校数の比率 (%)		25.0	6.0	48.4	20.0

### (3)-ア 支援発達障害学生数（学校種別）

#### < 概要 >

発達障害（診断書有）学生299人のうち、支援発達障害（診断書有）学生は、228人で、内訳は「LD」22人、「ADHD」31人、「高機能自閉症等」175人であった。構成比は、「LD」9.6%、「ADHD」13.6%、「高機能自閉症等」76.8%であった。

なお、発達障害（診断書無・配慮有）学生は、「発達障害の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行なっていない者は除く）」であるので、発達障害（診断書無・配慮有）の学生は支援を受けている学生である。

#### < 結果 >

表38

区 分		大学		短期大学 (部)		高等 専門学校		計		
		障害学生 (人)	支援障害学生 (人)	障害学生 (人)	支援障害学生 (人)	障害学生 (人)	支援障害学生 (人)	障害学生 (人)	支援障害学生 (人)	構成比 (%)
発達障害 (診断書有) 再掲	LD	27	19	0	0	4	3	31	22	9.6
	ADHD	35	24	1	0	13	7	49	31	13.6
	高機能 自閉症等	175	139	10	8	34	28	219	175	76.8
	小計	237	182	11	8	51	38	299	228	100.0
発達障害 (診断書無 ・配慮有)	LD	26		6		3		35		6.8
	ADHD	99		11		5		115		22.3
	高機能 自閉症等	295		16		54		365		70.9
	小計	420		33		62		515		100.0
計		657	602	44	41	113	100	814	743	-

(3)-イ 支援発達障害学生数（学科（専攻）別）

< 概要 >

支援発達障害（診断書有）学生及び発達障害（診断書無・配慮有）学生の学科（専攻）別在籍状況は以下のとおりである。

< 結果 >

表39

区分	発達障害（診断書有）再掲				発達障害（診断書無・配慮有）				計 (人)	構成比 (%)	
	L D	A D H D	自 高 閉 機 能 等	小 計	L D	A D H D	自 高 閉 機 能 等	小 計			
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			
大学	人文学	8	5	42	55	9	6	79	94	149	24.8
	社会科学	6	4	42	52	8	67	85	160	212	35.2
	理学	2	3	13	18	0	4	20	24	42	7.0
	工学	1	6	23	30	6	7	53	66	96	15.9
	農学	0	0	1	1	1	4	13	18	19	3.2
	保健(医・歯学)	0	0	1	1	0	0	3	3	4	0.7
	保健(医・歯学を除く)	1	1	2	4	0	1	7	8	12	2.0
	商船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家政	0	1	2	3	0	1	7	8	11	1.8
	教育	1	1	3	5	1	1	2	4	9	1.5
	芸術	0	0	9	9	0	1	8	9	18	3.0
	その他	0	3	1	4	1	7	18	26	30	5.0
小計	19	24	139	182	26	99	295	420	602	100.0	
短期大学（部）	人文	0	0	2	2	1	0	1	2	4	9.8
	社会	0	0	1	1	3	4	0	7	8	19.5
	教養	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2.4
	工業	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2.4
	農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家政	0	0	2	2	0	2	5	7	9	22.0
	教育	0	0	0	0	2	3	3	8	8	19.5
	芸術	0	0	1	1	0	1	4	5	6	14.6
	その他	0	0	1	1	0	1	2	3	4	9.8
	小計	0	0	8	8	6	11	16	33	41	100.0
高等専門学校	社会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	工業	3	7	28	38	3	5	54	62	100	100.0
	商船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	3	7	28	38	3	5	54	62	100	100.0
計	22	31	175	228	35	115	365	515	743	-	

#### (4) 支援発達障害学生在籍学校数（学校種別）

##### < 概要 >

「支援発達障害（診断書有）学生が1人以上在籍している」と回答のあった学校は129校であった。「発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している」と回答のあった学校は144校であった。また、「支援発達障害（診断書有）学生又は、発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している」と回答のあった学校は224校で、全体の18.4%であった。

##### < 結果 >

表40

区 分		大学 (校)	短期大学 (部) (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
発達障害 (診断書有) 再掲	LD	17	0	3	20
	ADHD	20	0	6	26
	高機能自閉症等	84	8	15	107
	支援発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	103	8	18	129
発達障害 (診断書無・ 配慮有)	LD	22	4	3	29
	ADHD	31	6	3	40
	高機能自閉症等	99	9	13	121
	発達障害(診断書無・ 配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	115	15	14	144
支援発達障害(診断書有)学生又は 発達障害(診断書無・配慮有)学生 が1人以上在籍する学校数		177	21	26	224
学校数		757	397	64	1,218
支援発達障害(診断書有)学生又は 発達障害(診断書無・配慮有)学生 が1人以上在籍する学校数の比率 (%)		23.4	5.3	40.6	18.4



#### (5)-ア 発達障害学生への支援（担当部署）

##### < 概要 >

「支援発達障害（診断書有）学生又は、発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している」と回答した224校で、発達障害学生への支援を主として担っている部署は、「学生相談室」131校（58.5%）、「保健管理センター又は保健室」121校（54.0%）であった。

※支援発達障害（診断書有）学生、又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している224校中

##### < 結果 >

表41

区分		大学 (校)	短期大学 (部) (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	比率 (%)
1	学生相談室	95	25	11	131	58.5
2	保健管理センター又は保健室	96	9	16	121	54.0
3	特に決まっていない	84	8	5	97	43.3
4	障害学生専門部署又は プロジェクト等	25	1	7	33	14.7

※複数回答あり

(5)-イ 発達障害のある学生への支援（支援内容）

< 概要 >

「支援発達障害（診断書有）又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している」と回答した224校で、発達障害学生に最も実施されている授業以外の支援は、「カウンセリング」で、180校で行なわれている。これは、「支援発達障害（診断書有）学生又は、発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している」と回答した224校の80.4%であった。

「学習指導（履修方法、学習方法等）」は137校で行なわれており、224校の61.2%であった。

※支援発達障害（診断書有）学生、又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している224校中（大学177校、短期大学（部）21校、高等専門学校26校）

< 結果 >

表42

区分	大学		短期大学(部)		高等専門学校		実施校数 (校)	224校中 の実施率 (%)	
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)			
授業支援 (再掲)	休憩室の確保	24	13.6	2	9.5	6	23.1	32	14.3
	実技・実習配慮	21	11.9	0	0.0	4	15.4	25	11.2
	チューター又はティーチング・アシスタの活用	19	10.7	1	4.8	2	7.7	22	9.8
	試験時間延長・別室受験	19	10.7	0	0.0	1	3.8	20	8.9
	教室内座席配慮	14	7.9	0	0.0	4	15.4	18	8.0
	注意事項等文書伝達	12	6.8	0	0.0	4	15.4	16	7.1
授業以外の支援	カウンセリング	145	81.9	17	81.0	18	69.2	180	80.4
	学習指導(履修方法、学習方法等)	110	62.1	12	57.1	15	57.7	137	61.2
	進路・就職指導	62	35.0	10	47.6	10	38.5	82	36.6
	生活指導(食事、洗濯等)	38	21.5	5	23.8	7	26.9	50	22.3
	発達障害支援センターとの連携	26	14.7	0	0.0	6	23.1	32	14.3
	特別支援学校との連携	2	1.1	0	0.0	1	3.8	3	1.3

※実施率：支援実施校÷発達障害（診断有）学生又は、発達障害（診断無・配慮有）学生  
が1人以上在籍学校数×100(%)

※授業支援、授業以外の支援に分け、実施校の多い順に掲載

(6) 発達障害を理由とする特別措置を行なった入学者詳細

< 概要 >

平成20年度入学者のうち、特別措置により入学した発達障害（診断書有）学生は10人で、発達障害（診断書無・配慮有）学生は1人であった。

< 結果 >

表43

区分			学部・学科（通学）					小計	学部・学科 （通信）	大学院 （通学）	大学院 （通信）	専攻科	計
			特別入試				以特別 の入試						
			A O入試	推 薦入試	特 別 入 試	障 害 入 試							
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
大学	発達障害(診断書有)再掲	LD	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	2
		ADHD	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0	2
		高機能自閉症等	1	2	0	3	2	5	0	0	0	0	5
		小計	1	5	0	6	3	9	0	0	0	0	9
	発達障害(診断書無・配慮有)	LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		高機能自閉症等	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1
		小計	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1
	大学計		1	6	0	7	3	10	0	0	0	0	10
	短期大学（部）	発達障害(診断書有)再掲	LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高機能自閉症等			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害(診断書無・配慮有)		LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		高機能自閉症等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期大学(部)計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高等専門学校		発達障害(診断書有)再掲	LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ADHD		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高機能自閉症等		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	小計		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	発達障害(診断書無・配慮有)	LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		高機能自閉症等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高等専門学校計		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	発達障害(診断書有)計 再掲		1	5	0	6	4	10	0	0	0	0	10
発達障害(診断書無・配慮有)計		0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	
計		1	6	0	7	4	11	0	0	0	0	11	

(7) 発達障害学生の卒業後の進路状況（学校種別）

< 概要 >

平成19年5月1日に大学学部に通学制、短期大学(部)学科に通学制、高等専門学校学科の最高年次に在籍していた発達障害（診断書有）学生38人のうち、平成19年度卒業者は28人であった。そのうち、大学院進学者2人、大学学部進学者4人、就職者は10人であった。また、同様に、発達障害（診断書無・配慮有）学生28人のうち、平成19年度卒業者は28人であり、そのうち、就職者は9人であった。

< 結果 >

表44

区分	最高年次障害学生数 平成19年5月1日現在 (人)	平成19年度卒業の障害学生数 平成20年3月31日まで (人)	平成19年度卒業した障害学生の進路状況 ※平成20年5月1日まで															
			進学							就職者（左記を除く） うち就職している者 (人)	臨床研修医 （予定者を含む） (人)	専修学校・ 教育訓練機関等 (人)	医療・福祉施設入所 (人)	一時的な職に就いた者 (人)	左記以外の者 (人)	死亡・不詳の者 (人)	計 (人)	
			大学院研究科 (人)	大学学部 (人)	短期大学本科 (人)	専攻科 (人)	別科 (人)	うち就職している者 (人)										
大学	発達障害 (診断書有)再掲	LD	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		ADHD	5	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4
		高機能自閉症等	27	19	2	0	0	0	0	0	9	0	2	0	0	6	0	19
		小計	34	24	2	1	0	0	0	0	10	0	2	0	0	9	0	24
	発達障害 (診断書無・配慮有)	LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ADHD	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		高機能自閉症等	17	15	0	1	0	0	0	1	4	0	0	0	2	5	3	15
		小計	19	17	0	1	0	0	0	1	6	0	0	0	2	5	3	17
	大学計	53	41	2	2	0	0	0	1	16	0	2	0	2	14	3	41	
	短期大学(部)	発達障害 (診断書有)再掲	LD	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0
ADHD			0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
高機能自閉症等			2	2	-	1	0	0	0	0	0	-	0	0	1	0	0	2
小計			2	2	-	1	0	0	0	0	0	-	0	0	1	0	0	2
発達障害 (診断書無・配慮有)		LD	4	4	-	0	0	0	0	0	3	-	0	0	1	0	0	4
		ADHD	1	2	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	1	1	0	2
		高機能自閉症等	4	5	-	0	0	0	0	0	0	-	2	0	2	1	0	5
		小計	9	11	-	0	0	0	0	0	3	-	2	0	4	2	0	11
短期大学(部)計	11	13	-	1	0	0	0	0	3	-	2	0	5	2	0	13		
高等専門学校	発達障害 (診断書有)再掲	LD	1	1	-	1	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1
		ADHD	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0
		高機能自閉症等	1	1	-	1	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1
		小計	2	2	-	2	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	2
	発達障害 (診断書無・配慮有)	LD	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0
		ADHD	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0
		高機能自閉症等	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0
		小計	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0
	高等専門学校計	2	2	-	2	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	2	
	発達障害(診断書有)計 再掲	38	28	2	4	0	0	0	0	10	0	2	0	1	9	0	28	
発達障害(診断書無・配慮有)	28	28	0	1	0	0	0	1	9	0	2	0	6	7	3	28		
計	66	56	2	5	0	0	0	1	19	0	4	0	7	16	3	56		

※最高年次：大学 4年次及び6年次  
 短期大学(部) 2年次（3年制の場合は3年次）  
 高等専門学校 5年次

< 調査票 >



## 記入上の注意





## 記入上の注意

平成 20 年度（2008 年度）大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生に関する実態調査

※昨年度と変更のある点はゴシックとなっているのでご注意ください。

### ※1 【障害学生】

「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療養手帳」を有している学生又は「健康診断等において障害があることが明らかになった学生」（重複する場合は実数）

更に、下記、各障害種の定義もご参照ください。

### ※2 【支援障害学生】

学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援（例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む）を行っている（今年度中の支援予定を含む）障害学生

### ※3 【他の機能障害】

以下の通り、体幹の機能障害のある者

体幹の機能障害のみ、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、  
体幹と上下肢の機能障害

### ※4 【重複】

以下の通り、視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由又は病弱・虚弱の障害が重複している者

視・聴、視・肢、視・病、聴・肢、聴・病、肢・病、視・聴・肢、  
視・聴・病、視・肢・病、聴・肢・病、視・聴・肢・病

### ※5 【病弱・虚弱】

- 1 心臓疾患、じん臓疾患、呼吸器疾患、ぼうこう疾患、直腸疾患、小腸疾患、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫疾患、神経疾患及び悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者
- 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

### ※6 【発達障害（診断書有）】

発達障害の医師の診断書がある者

LD＝学習障害　ADHD＝注意欠陥/多動性障害

高機能自閉症等＝高機能自閉症及びアスペルガー症候群

### ※7 【発達障害（診断書無・配慮有）】

発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている者（特別な支援を行っていない者は除く）

LD＝学習障害　ADHD＝注意欠陥/多動性障害

高機能自閉症等＝高機能自閉症及びアスペルガー症候群

※8 **【その他（診断書有）】**

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、**医師の診断書がある者**

具体の障害名を記入（例：統合失調症、パニック障害、高次脳機能障害、など）

※9 **【学科（専攻）の分類】**

平成20年度学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。なお、学科（専攻）のコードが不明な場合は、貴校の学校基本調査担当者にご確認ください。

「平成20年度学校基本調査の手引」は以下のURLからダウンロードすることができます。  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/001/06020203/index.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/06020203/index.htm)

※10 **【推薦入試】**

出身学校長の推薦に基づく、公募制、指定校対象、附属高校対象等の推薦入試

※11 **【支援方法】**

1. **点訳・墨訳：**

点訳は教科書や配布される資料などを点字に訳し、利用者に提供したり、情報を伝えたりする支援技術・方法。墨訳は試験などで点字で解答した場合、それを出題者が採点するために点字を通常の活字に訳すこと。

2. **教材のテキストデータ化：**

教材、レジュメなどの印刷物をテキストデータ化（フォント、サイズなどの書式情報を持たない文字だけのデータ）する方法。テキストデータ化することにより、パソコン上で「音声読み上げソフト」や「点訳ソフト」を活用できる。

3. **教材の拡大：**

講義テキストや配布される資料などを拡大読書機でモニターに拡大表示したり、大きなポイント（大きい文字）で印刷したりすることにより情報を伝えること。

4. **ガイドヘルプ：**

利用者が学内を移動する際に、歩行介助及び誘導を行なうもので、主として講義と講義の間の教室移動をサポートすること。

5. **リーディングサービス：**

講義テキストや配布される資料などを音声で読み上げ、文字を音声に訳すことで利用者に情報を伝える支援技術・方法。主に講義中に板書されたものなどをその場で口頭により伝える「代読」と、利用者と支援者が対面しながら資料等を読み上げる「対面朗読」がある。

6. **手話通訳：**

講義の内容や周りの様子を支援者が利用者に手話で情報を伝える支援技術・方法。

7. **ノートテイク：**

講義の内容や周りの様子を支援者がルーズリーフ用紙等に筆記し、利用者に文字で伝える支援技術・方法。

8. **パソコンテイク：**

講義の内容や周りの様子を支援者がパソコンに入力し、利用者に文字で伝える支援技術・方法。

**9. ビデオ教材字幕付け：**

教材等として使用される日本語で製作されたビデオ・DVDなどの台詞、ナレーション等を聞き取り、それをテキスト化し、ビデオ等に字幕として挿入すること。紙面に記す方法もある。

**10. チューター又はティーチング・アシスタントの活用：**

大学院の学生や担当教員などが、学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演習等の補助や助言等を行う学内の制度を活用した支援のこと。

**12. 試験時間延長・別室受験：**

定期試験の際に、点字の読み取りや筆記、代筆が必要な場合に通常に比べ時間を要することから、通常の試験時間を延長して行なう措置のこと。多くの場合、別室を用意し、そこで受験する。

**13. 解答方法配慮：**

障害の状況に応じて、試験時の解答方法を選択できるようにすること。

**14. パソコンの持込使用許可：**

授業中にパソコンを利用するため学校（教員）が持込を許可すること。

**15. 注意事項等文書伝達：**

定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書の形にして、対象者に配布或いは板書すること。

**16. 使用教室配慮：**

授業で使用する教室を移動しやすい教室にしたり、修学に適した広さ・設備の教室にすること。

**17. 実技・実習配慮：**

体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等、いわゆる座学中心の講義以外の授業に対し配慮すること。

**18. 教室内座席配慮：**

障害学生が受講しやすいように教室内での座席の位置を配慮すること。

**19. FM 補聴器・マイク使用：**

講義者が持つ専用のワイヤレスマイクを通じて、距離や周囲の雑音に影響されず、講義者の声を専用の補聴器を装着した障害学生に伝える方法。また、そのワイヤレスマイクや補聴器の貸し出し等を行うこと。

**20. 専用机・イス・スペース確保：**

車いす用の机の配置、スペースの確保など、障害学生が円滑に授業を受講したり、学生生活を送るために、障害の特性等に合わせた設備又はそれに関連する配慮を行うこと。

**21. 読み上げソフト使用：**

電子データを音声データに変換するソフトの貸し出し等を行うこと。

**22. 講義内容録音許可：**

講義内容の録音を学校（教員）が許可すること。

**23. 休憩室の確保：**

休み時間や空き時間に、障害学生が休憩することのできる部屋・スペースを設けること。

- ※12 **【最高年次障害学生在籍者数(H19年5月1日現在)】**  
 昨年度(平成19年5月1日現在)に、最高年次に在籍していた障害学生数。  
(最高年次) 大 学 : 4年次または6年次(4年制及び6年制の両方が設置されている場合は、その合計数を記入)。  
 短期大学 : 2年次または3年次(2年制及び3年制の両方が設置されている場合はその合計数を記入)。  
 高等専門学校 : 5年次
- ※13 **【H19年度卒業の(H20年3月31日まで)障害学生数】**  
 平成19年5月2日～平成20年3月31日までの間に卒業した、障害学生数
- ※14 **【就職者】**  
 給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者をいう。したがって、自家・自営業に就いた者は就職者とみなす。自家・自営業に就いた者とは、継続的に本業として家業に従事する場合である。ただし、家事の手伝いに就いた者は「左記以外の者」の欄に記入する。また、夜間部の学生で在学中すでに職に就いている者で、卒業後も引き続きその職にある場合は、就職者とする。A(大学院研究科)～E(別科)に区分される者については、就職者には含めず、「左記A～Eのうち就職している者」に計上する。
- ※15 **【臨床研修医】**  
 医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づく臨床研修を受ける者の数を記入する。また、5月1日現在、臨床研修医となることが予定される者もここに含めて記入する。
- ※16 **【専修学校・外国の学校・教育訓練機関等入学者】**  
 A～E以外の者で、学校等に入学(在籍)している者を記入する。専修学校・各種学校、外国の学校、職業能力開発校等への入学者、研究生として入学した者などがここに含まれる。
- ※17 **【社会福祉施設・医療機関入所】**  
 社会福祉施設に入所、又は医療機関に入院した者  
 (なお、社会福祉施設・医療機関に就職した者については、「就職者」に計上)
- ※18 **【一時的な仕事に就いた者】**  
 臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者をいう。例えば、アルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を記入する。
- ※19 **【左記以外の者】**  
 進学でも就職でもないことが明らかな者を記入する。家事手伝いなどがここに含まれる。なお、学校で具体的状況を把握していない者でも、進学でも就職でもないことが明らかな者であれば記入する。
- ※20 **【死亡・不詳の者】**  
 死亡とは、卒業者のうち平成20年5月1日までに死亡した者をいう。また、不詳とは、各欄のいずれに該当するか学校で把握していない者をいう。
- ※21 **【A～Eのうち就職している者】**  
 A～Eのうち、就職している者を記入する。

大学·大学院用



平成20年度（2008年度）大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査（大学・大学院用）

学校名			
主となる所在地 の都道府県名	記入の仕方：都府県は省略 例) 北海道 → 北海道 東京都 → 東京		
担当部課室名			
担当者名			
連絡先	TEL :		
	FAX :		
	E-mail :		

日本学生支援機構より障害のある学生に対する修学支援に関するイベント等の情報を希望する場合は「1」をご記入下さい。↑

※ご記入いただいた個人情報（担当者名、E-mail）は、本調査の回答に関して個別に確認が必要な場合に利用します。また、本機構の関連事業実施に当たり、必要に応じて、より詳細な情報を収集するため個別に問い合わせる場合に利用することがあります。

注意

- 調査シートは全部で19枚あります。
- 障害のある学生（以下「障害学生」という。）が在籍していない場合でも、ご回答下さい。
- 記入のないシートがあった場合も削除せず、全てのシートをご送付下さい。
- 短期大学及び短期大学部については、本調査票には記入しないで下さい。
- 研究生、科目等履修生、聴講生、及び別科生は対象外ですので、計上しないで下さい。
- 平成20年5月1日現在の数値に基づいてご記入下さい。
- 数値は、半角でご記入下さい。
- 調査票内の※については、別ファイルの「記入上の注意」をご参照下さい。

回答締切日 平成20年12月26日（金）

日本学生支援機構のホームページから様式をダウンロードし、記入後の調査票をメールまたは郵送にてご送付下さい。

様式ダウンロード用URL：[http://www.jasso.go.jp/tokubetsu\\_shien/chosa08.html](http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/chosa08.html)

■送付用メールアドレス：[kaitou@jasso.go.jp](mailto:kaitou@jasso.go.jp)

メールの標題：〇〇大学回答（例：青海大学回答）

■郵送先住所：〒135-8630 東京都江東区青海2-79 日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課

<問い合わせ先>

日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課 事業計画係（担当者：石川・木村・渡邊）

住所：〒135-8630 東京都江東区青海2-79 電話：03-5520-6173

E-mail：[tokubetsushien@jasso.go.jp](mailto:tokubetsushien@jasso.go.jp)

1. 学校全体の学生数等

障害学生の在籍の有無を問わず回答

- 平成20年5月1日現在の学校全体の学生数（障害学生を含む。）をご記入下さい。  
また、内数として、1年次の学生数を「うち1年次」の欄にご記入下さい。  
課程の設置がない場合は、「-（ハイフン）」をご記入下さい。

課程	学校全体の学生数 (単位:人)	
	うち1年次	
学部（通学課程）		
学部（通信教育課程）		
大学院（通学課程）		
大学院（通信教育課程）		
専攻科		
計		

(注) 1年次とは平成20年度の入学者をいいます。

(注) 大学院の1年次とは、  
・修士課程1年次  
・博士前期課程1年次、  
・一貫制博士課程1年次  
・専門職学位課程1年次  
を対象とします。

(注) 専攻科  
学校教育法第91条第2項より  
「大学の専攻科は、大学を卒業した者又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者に対して、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的とし、その修業年限は、一年以上とする。」

- 障害学生の在籍状況について、①または②のいずれかに「1」をご記入ください。

<1-2>障害学生在籍状況

障害学生在籍状況		どちらかに「1」
①	上記の課程に障害学生が在籍している	
②	上記のいずれの課程にも障害学生が在籍していない	

→「2. 障害学生数・支援障害学生数」に移動

→「3. 特別措置 受験者数・合格者数・入学者数」に移動

2. 障害学生数・支援障害学生数

障害学生が在籍している場合にのみ回答

ア. 学部（通学課程）

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

( )には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援（例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。）を行っている（今年度中の支援予定を含む。）障害学生をいいます。
- ・障害学生（支援障害学生）の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年限を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

＜2-1-1＞障害学生数等(学部通学)

(単位:人)

障害学生数		①障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）			
		ア. ①のうち1年次の学生数	イ. ①のうち休学者数	ウ. ①のうち最低在学年限を越えて在籍している障害学生数	
視覚障害	盲	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )
聴覚・言語障害	聾	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )
肢体不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )
その他(診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )

・「発達障害（診断書無・配慮有）」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

- ・「病弱・虚弱（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「発達障害（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「その他（診断書有）」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生（支援障害学生）」の内数として、「学科別の障害学生数（支援障害学生数）」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

＜2-2-1＞学科別障害学生数(学部通学)

(単位:人)

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）					
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)
視覚障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他(診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）					
		保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
視覚障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他(診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )



イ. 学部（通信教育課程）

障害学生が在籍している場合のみ回答

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

( )には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援（例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。）を行っている（今年度中の支援予定を含む。）障害学生をいいます。
- ・障害学生（支援障害学生）の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

＜2-1-2＞障害学生数等(学部通信) (単位:人)

障害学生数		①障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）		
		ア. ①のうち 1年次の学生数	イ. ①のうち 休学者数	ウ. ①のうち 最低在学年を 越えて在籍して いる障害学生数
視覚 障害	盲	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )
		( )	( )	( )
計		( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )

・「発達障害（診断書無・配慮有）」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

- ・「病弱・虚弱（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「発達障害（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「その他（診断書有）」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生（支援障害学生）」の内訳として、「学科別の障害学生数（支援障害学生数）」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

＜2-2＞学科別障害学生数(学部通信) (単位:人)

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）					
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）					
		保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

ウ. 大学院（通学課程）

障害学生が在籍している場合にのみ回答

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

( )には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援（例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。）を行っている（今年度中の支援予定を含む。）障害学生をいいます。
- ・障害学生（支援障害学生）の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年限を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

＜2-1-3＞障害学生数等(大学院通学) (単位:人)

障害学生数		①障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）		
		ア. ①のうち 1年次の学生数	イ. ①のうち 休学者数	ウ. ①のうち 最低在学年限を 越えて在籍して いる障害学生数
視覚 障害	盲	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )
		( )	( )	( )
		( )	( )	( )
計		( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )

・「発達障害（診断書無・配慮有）」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

- ・「病弱・虚弱（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「発達障害（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「その他（診断書有）」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生（支援障害学生）」の内訳として、「学科別の障害学生数（支援障害学生数）」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

＜2-2-3＞学科別障害学生数(大学院通学) (単位:人)

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）					
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）					
		保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

エ. 大学院（通信教育課程）

障害学生が在籍している場合のみ回答

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

( )には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援（例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。）を行っている（今年度中の支援予定を含む。）障害学生をいいます。
- ・障害学生（支援障害学生）の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年限を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

＜2-1-4＞障害学生数等(大学院通信) (単位:人)

障害学生数		①障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）		
		ア. ①のうち 1年次の学生数	イ. ①のうち 休学者数	ウ. ①のうち 最低在学年限を 越えて在籍して いる障害学生数
視覚 障害	盲	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )
		( )	( )	( )
計		( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )

・「発達障害（診断書無・配慮有）」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

- ・「病弱・虚弱（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「発達障害（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「その他（診断書有）」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生（支援障害学生）」の内訳として、「学科別の障害学生数（支援障害学生数）」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

＜2-2＞学科別障害学生数(大学院通信) (単位:人)

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）					
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1（支援障害学生数 ※2）					
		保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

オ. 専攻科

障害学生が在籍している場合のみ回答

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

( )には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援(例:ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。)を行っている(今年度中の支援予定を含む。)障害学生をいいます。
- ・障害学生(支援障害学生)の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

<2-1-5>障害学生数等(専攻科) (単位:人)

障害学生数		①障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)		
		ア. ①のうち 1年次の学生数	イ. ①のうち 休学者数	ウ. ①のうち 最低在学年を 越えて在籍して いる障害学生数
視覚 障害	盲	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )
		( )	( )	( )
		( )	( )	( )
計		( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )

・「発達障害(診断書無・配慮有)」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

- ・「病弱・虚弱(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「発達障害(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「その他(診断書有)」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生(支援障害学生)」の内訳として、「学科別の障害学生数(支援障害学生数)」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

<2-2-5>学科別障害学生数(専攻科) (単位:人)

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)					
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)					
		保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

3. 特別措置 受験者数・合格者数・入学者数

障害を理由とする特別措置を行った場合に回答

- (1) 平成20年度入学選抜（平成20年度入学者）において、障害のある者に対して特別措置を行った受験者、合格者、入学者数をご記入下さい。入学者数については障害別の内訳をご記入下さい。
- ・学部の通学課程のみ、内数として、「AO入試」、「推薦入試」及び「障害者特別入試」についてご記入下さい。
  - ・「急性の疾病」や「けが」など一過性のもので、その後に回復する見込みがある者に対して行った特別措置者数は、計上しないで下さい。
  - ・受験者数及び合格者数は延べ数を、入学者数は実数をご記入下さい。

＜3-1＞特別措置者数

(単位:人)

	特別措置による受験者・合格者・入学者数(障害学生数)							
	学部 (通学課程)			学部 通信 教育 課程	大学院 (通学 課程)	大学院 通信 教育 課程	専攻科	計
	うち AO 入試	うち 推薦 入試 ※10	うち 障害者 特別 入試					
受験者数								
合格者数								
入学者数								
視覚障害	盲							
	弱視							
聴覚・言語障害	聾							
	難聴 言語障害のみ							
肢体不自由	上肢機能障害							
	下肢機能障害							
	上下肢機能障害							
	他の機能障害 ※3							
重複 ※4								
病弱・虚弱(診断書有) ※5								
発達障害 (診断書有) ※6	LD							
	ADHD 高機能自閉症等							
その他 (診断書有) ※8								
計								
発達障害 (診断書無・ 配慮有)※7	LD							
	ADHD							
	高機能自閉症等							

- (2) 「発達障害（診断書有）」、「発達障害（診断書無・支援有）」及び「その他（診断書有）」の障害学生が特別措置を受けて受験した場合、「具体的な特別措置」欄に具体的な特別措置の内容をご記入下さい。

＜3-2＞具体的な特別措置

特別措置を受けた受験者に対する、具体的な特別措置	
発達障害 (診断書有) ※6	LD
	ADHD
	高機能自閉症等
その他 (診断書有) ※8	
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD
	ADHD
	高機能自閉症等

4. 学内における支援

支援障害学生が在籍している場合にのみ回答

＜1. 授業に関する支援 I＞

- (1) 「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、支援障害学生(※2)が在籍していると回答し、更に以下の「1~10」の支援を行っている場合、それぞれの支援について該当する支援者を「ア・教職員」、「イ・学生」または「ウ・外部」から選び、障害種別に「1」をご記入下さい。(複数回答可)
- ・支援者が学生で、謝金等を支給している場合は「①謝金等支給有り」に「1」、履修科目に位置付けて支援を行っている場合は「②履修科目に位置付けて支援」に「1」、無償で支援を行っている場合は「③謝金等支給は無い」に「1」をご記入下さい。なお、「②履修科目に位置付けて支援」に「1」をご記入した場合は、「履修科目名」及び「具体的な方法」をご記入下さい。
  - ・支援者が外部で、支援に対して報酬を支払っている場合は「④報酬支払い有り」に「1」、無償で支援を行っている場合は「⑤報酬支払いは無い」に「1」をご記入下さい。

＜4-1＞支援者

障害種別	視覚障害			聴覚・言語障害			肢体不自由			病弱・虚弱			発達障害			その他			イ・学生		ウ・外部			
	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	①謝金等支給有り	②履修科目に位置付けて支援	③謝金等支給は無い	④報酬支払い有り	⑤報酬支払いは無い	
支援方法 ※11																								
1 点訳・墨訳																								
2 教材のテキストデータ化																								
3 教材の拡大																								
4 ガイドヘルプ																								
5 リーディングサービス																								
6 手話通訳																								
7 ノートテイク																								
8 パソコンテイク																								
9 ビデオ教材字幕付け																								
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用																								
11 その他(支援方法記入)																								

履修科目名	
具体的な方法	

<1. 授業に関する支援 II>

(2) 「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、支援障害学生(※2)が在籍していると回答した場合、行っている授業支援について、障害種別に「1」をご記入下さい。

(複数回答可)

<4-2>授業支援

支援方法 ※11		障害種別					
		視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	発達障害	その他
12	試験時間延長・別室受験						
13	解答方法配慮						
14	パソコンの持込使用許可						
15	注意事項等文書伝達						
16	使用教室配慮						
17	実技・実習配慮						
18	教室内座席配慮						
19	FM補聴器・マイク使用						
20	専用机・イス・スペース確保						
21	読み上げソフト使用						
22	講義内容録音許可						
23	休憩室の確保						
24	その他(支援方法記入)						
25	その他(支援方法記入)						

<2. 授業以外の支援 >

(3) 「授業に関する支援以外の支援」を行っている場合は、下表の「支援方法」欄に具体的な支援方法を入力の上、該当する障害種別に「1」をご記入ください。

<4-3>授業以外支援

支援方法		障害種別					
		視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	発達障害	その他
26							
27							
28							

発達障害については次頁に記入

<3. 発達障害のある学生への支援 >

**支援発達障害学生が在籍している場合にのみ回答**

「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、発達障害(診断有)の支援障害学生又は、発達障害(診断無・配慮有)の学生が「在籍している」と回答した場合、下記ご回答ください。

(4) 発達障害のある学生への支援を主として担っている部署に「1」をご記入下さい。(複数回答可)

<4-4>発達障害支援部署

発達障害のある学生 支援部署		担っている部署に「1」
1	保健管理センター又は保健室	
2	学生相談室	
3	障害学生専門部署又はプロジェクト等(部署・プロジェクト等名記入)	
4	その他(学生課・教務課・キャリア支援センター等部署名記入)	
5	特に決まっていない	

(5) 発達障害のある学生に行っている支援に「1」をご記入下さい。(複数回答可)

<4-5>発達障害支援方法

発達障害のある学生 支援方法		行っている場合「1」
1	カウンセリング	
2	進路・就職指導	
3	発達障害支援センターとの連携	
4	特別支援学校との連携	
5	生活指導(食事、洗濯等)	
6	学習指導(履修方法、学習方法等)	
7	その他(支援方法記入)	
8	その他(支援方法記入)	

(6) 現在、発達障害のある学生への支援に関して感じている困難があれば、ご記入下さい。



## 7. 要望・ご意見等

- (1) 障害学生の修学支援に関して、課題と感じられておられること、お困りになっている事がありましたらご記入下さい。

<7-1>課題等

- (2) 障害学生に対して行っている支援内容が、障害学生以外の大学利用者や学外において活かすことができると感じておられることがあればご記入ください。

例：学外講演会におけるパソコンテイクの活用  
公開講座出席のご高齢者に対する配慮

<7-2>学外活用

- (3) 日本学生支援機構の障害学生修学支援の取組について、ご意見・ご要望がありましたらご記入下さい。

<7-3>意見・要望

ご協力、誠にありがとうございました。



短期大学（部）用



平成20年度（2008年度）大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査（短期大学（部）用）

学校名			
主となる所在地 の都道府県名	記入の仕方：都府県は省略 例) 北海道 → 北海道 東京都 → 東京		
担当部課室名			
担当者名			
連絡先	TEL :		
	FAX :		
	E-mail :		

日本学生支援機構より障害のある学生に対する修学支援に関するイベント等の情報を希望する場合は「1」をご記入下さい。↑

※ご記入いただいた個人情報（担当者名、E-mail）は、本調査の回答に関して個別に確認が必要な場合に利用します。また、本機構の関連事業実施に当たり、必要に応じて、より詳細な情報を収集するため個別に問い合わせる場合に利用することがあります。

注意

- 調査シートは全部で15枚あります。
- 障害のある学生（以下「障害学生」という。）が在籍していない場合でも、ご回答下さい。
- 記入のないシートがあった場合も削除せず、全てのシートをご送付下さい。
- 研究生、科目等履修生、聴講生、及び別科生は対象外ですので、計上しないで下さい。
- 平成20年5月1日現在の数値に基づいてご記入下さい。
- 数値は、半角でご記入下さい。
- 調査票内の※については、別ファイルの「記入上の注意」をご参照下さい。

回答締切日 平成20年12月26日（金）

日本学生支援機構のホームページから様式をダウンロードし、記入後の調査票をメールまたは郵送にてご送付下さい。

様式ダウンロード用URL：[http://www.jasso.go.jp/tokubetsu\\_shien/chosa08.html](http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/chosa08.html)

■送付用メールアドレス：[kaitou@jasso.go.jp](mailto:kaitou@jasso.go.jp)

メールの標題：○○短期大学回答（例：青海短期大学回答）

■郵送先住所：〒135-8630 東京都江東区青海2-79 日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課

<問い合わせ先>

日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課 事業計画係（担当者：石川・木村・渡邊）

住所：〒135-8630 東京都江東区青海2-79 電話：03-5520-6173

E-mail：[tokubetsushien@jasso.go.jp](mailto:tokubetsushien@jasso.go.jp)

1. 学校全体の学生数等

障害学生の在籍の有無を問わず回答

- 平成20年5月1日現在の学校全体の学生数（障害学生を含む。）をご記入下さい。  
また、内数として、1年次の学生数を「うち1年次」の欄にご記入下さい。  
課程の設置がない場合は、「-（ハイフン）」をご記入下さい。

<1>全体学生数（単位：人）

課程	学校全体の学生数	
	うち1年次	
通学制		
通信制		
専攻科		
計		

（注）1年次とは平成20年度の入学者をいいます。

（注）専攻科  
学校教育法第91条第2項より  
「大学の専攻科は、大学を卒業した者又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者に対して、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的とし、その修業年限は、一年以上とする。」

- 障害学生の在籍状況について、①または②のいずれかに「1」をご記入ください。

<1-2>障害学生在籍状況

障害学生在籍状況		どちらかに「1」
①	上記の課程に障害学生が在籍している	
②	上記のいずれの課程にも障害学生が在籍していない	

→「2. 障害学生数・支援障害学生数」に移動

→「3. 特別措置 受験者数・合格者数・入学者数」に移動

2. 障害学生数・支援障害学生数

障害学生が在籍している場合にのみ回答

ア. 通学制

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

( )には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援(例:ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。)を行っている(今年度中の支援予定を含む。)障害学生をいいます。
- ・障害学生(支援障害学生)の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年限を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

②-1-1)障害学生数等(通学制) (単位:人)

障害学生数		①障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)			
		ア. ①のうち 1年次の学生数	イ. ①のうち 休学者数	ウ. ①のうち 最低在学年限を 越えて在籍して いる障害学生数	
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )

・「発達障害(診断書無・配慮有)」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

- ・「病弱・虚弱(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「発達障害(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「その他(診断書有)」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生(支援障害学生)」の内訳として、「学科別の障害学生数(支援障害学生数)」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

②-2-1)学科別障害学生数(通学制) (単位:人)

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)					
		人文	社会	教養	工業	農業	保健
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)				
		商船	家政	教育	芸術	その他
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )

イ. 通信制

障害学生が在籍している場合のみ回答

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

( )には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援(例:ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。)を行っている(今年度中の支援予定を含む。)障害学生をいいます。
- ・障害学生(支援障害学生)の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年限を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

＜2-1-2＞障害学生数等(通信制) (単位:人)

障害種別		①障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)			
		ア. ①のうち1年次の学生数	イ. ①のうち休学者数	ウ. ①のうち最低在学年限を越えて在籍している障害学生数	
視覚障害	盲	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )
聴覚・言語障害	聾	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )
肢体不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )
その他(診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )

・「発達障害(診断書無・配慮有)」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

- ・「病弱・虚弱(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「発達障害(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「その他(診断書有)」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生(支援障害学生)」の内訳として、「学科別の障害学生数(支援障害学生数)」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

＜2-2＞学科別障害学生数(通信制) (単位:人)

障害種別		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)					
		人文	社会	教養	工業	農業	保健
視覚障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他(診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

障害種別		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)				
		商船	家政	教育	芸術	その他
視覚障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )
肢体不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )
その他(診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )

ウ. 専攻科

障害学生が在籍している場合のみ回答

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

( )には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援(例:ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。)を行っている(今年度中の支援予定を含む。)障害学生をいいます。
- ・障害学生(支援障害学生)の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年限を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

<2-1-3>障害学生数等(専攻科) (単位:人)

障害種別		①障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)			
		ア. ①のうち 1年次の学生数	イ. ①のうち 休学者数	ウ. ①のうち 最低在学年限を 越えて在籍して いる障害学生数	
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )

・「発達障害(診断書無・配慮有)」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

- ・「病弱・虚弱(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「発達障害(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「その他(診断書有)」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生(支援障害学生)」の内訳として、「学科別の障害学生数(支援障害学生数)」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

<2-2-3>学科別障害学生数(専攻科) (単位:人)

障害種別		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)					
		人文	社会	教養	工業	農業	保健
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

障害種別		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)				
		商船	家政	教育	芸術	その他
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )

3. 特別措置 受験者数・合格者数・入学者数

障害を理由とする特別措置を行った場合に回答

- (1) 平成20年度入学選抜（平成20年度入学者）において、障害のある者に対して特別措置を行った受験者、合格者、入学者数をご記入下さい。入学者数については障害別の内訳をご記入下さい。
- ・通学制のみ、内数として、「AO入試」、「推薦入試」及び「障害者特別入試」についてご記入下さい。
  - ・「急性の疾病」や「けが」など一過性のもので、その後に回復する見込みがある者に対して行った特別措置者数は、計上しないで下さい。
  - ・受験者数及び合格者数は延べ数を、入学者数は実数をご記入下さい。

＜3-1＞特別措置者数 (単位:人)

	特別措置による受験者・合格者・入学者数(障害学生数)					
	通学制			通信制	専攻科	計
	うち AO 入試	うち 推薦 入試 ※10	うち 障害者 特別 入試			
受験者数						
合格者数						
入学者数						
視覚障害	盲					
	弱視					
聴覚・言語障害	聾					
	難聴 言語障害のみ					
肢体不自由	上肢機能障害					
	下肢機能障害					
	上下肢機能障害					
	他の機能障害 ※3					
重複 ※4						
病弱・虚弱(診断書有) ※5						
発達障害(診断書有) ※6	LD					
	ADHD					
	高機能自閉症等					
その他(診断書有) ※8						
計						
発達障害(診断書無・配慮有)※7	LD					
	ADHD					
	高機能自閉症等					

- (2) 「発達障害（診断書有）」、「発達障害（診断書無・支援有）」及び「その他（診断書有）」の障害学生が特別措置を受けて受験した場合、「具体的な特別措置」欄に具体的な特別措置の内容をご記入下さい。

＜3-2＞具体的な特別措置

特別措置を受けた受験者に対する、具体的な特別措置	
発達障害(診断書有) ※6	LD
	ADHD
	高機能自閉症等
その他(診断書有) ※8	
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD
	ADHD
	高機能自閉症等

4. 学内における支援

支援障害学生が在籍している場合にのみ回答

＜1. 授業に関する支援 1＞

- (1) 「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、支援障害学生(※2)が在籍していると回答し、更に以下の「1～10」の支援を行っている場合、それぞれの支援について該当する支援者を「ア・教職員」、「イ・学生」または「ウ・外部」から選び、障害種別に「1」をご記入下さい。(複数回答可)
- ・支援者が学生で、謝金等を支給している場合は「①謝金等支給有り」に「1」、履修科目に位置付けて支援を行っている場合は「②履修科目に位置付けて支援」に「1」、無償で支援を行っている場合は「③謝金等支給は無い」に「1」をご記入下さい。なお、「②履修科目に位置付けて支援」に「1」をご記入した場合は、「履修科目名」及び「具体的な方法」をご記入下さい。
  - ・支援者が外部で、支援に対して報酬を支払っている場合は「④報酬支払い有り」に「1」、無償で支援を行っている場合は「⑤報酬支払いは無い」に「1」をご記入下さい。

＜4-1＞支援者

障害種別	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		発達障害		その他		イ・学生		ウ・外部						
	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	①謝金等支給有り	②履修科目に位置付けて支援	③謝金等支給は無い	④報酬支払い有り	⑤報酬支払いは無い	
支援方法 ※11																					
1 点訳・墨訳																					
2 教材のテキストデータ化																					
3 教材の拡大																					
4 ガイドヘルプ																					
5 リーディングサービス																					
6 手話通訳																					
7 ノートテイク																					
8 パソコンテイク																					
9 ビデオ教材字幕付け																					
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用																					
11 その他(支援方法記入)																					

履修科目名	
具体的な方法	

<1. 授業に関する支援 II>

(2) 「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、支援障害学生(※2)が在籍していると回答した場合、行っている授業支援について、障害種別に「1」をご記入下さい。

(複数回答可)

<4-2>授業支援

支援方法 ※11		障害種別					
		視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	発達障害	その他
12	試験時間延長・別室受験						
13	解答方法配慮						
14	パソコンの持込使用許可						
15	注意事項等文書伝達						
16	使用教室配慮						
17	実技・実習配慮						
18	教室内座席配慮						
19	FM補聴器・マイク使用						
20	専用机・イス・スペース確保						
21	読み上げソフト使用						
22	講義内容録音許可						
23	休憩室の確保						
24	その他(支援方法記入)						
25	その他(支援方法記入)						

<2. 授業以外の支援>

(3) 「授業に関する支援以外の支援」を行っている場合は、下表の「支援方法」欄に具体的な支援方法を入力の上、該当する障害種別に「1」をご記入ください。

<4-3>授業以外支援

支援方法		障害種別					
		視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	発達障害	その他
26							
27							
28							

発達障害については次頁に記入

<3. 発達障害のある学生への支援>

**支援発達障害学生が在籍している場合にのみ回答**

「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、発達障害(診断有)の支援障害学生又は、発達障害(診断無・配慮有)の学生が「在籍している」と回答した場合、下記ご回答ください。

(4) 発達障害のある学生への支援を主として担っている部署に「1」をご記入下さい。(複数回答可)

<4-4>発達障害支援部署

発達障害のある学生 支援部署		担っている部署に「1」
1	保健管理センター又は保健室	
2	学生相談室	
3	障害学生専門部署又はプロジェクト等(部署・プロジェクト等名記入)	
4	その他(学生課・教務課・キャリア支援センター等部署名記入)	
5	特に決まっていない	

(5) 発達障害のある学生に行っている支援に「1」をご記入下さい。(複数回答可)

<4-5>発達障害支援方法

発達障害のある学生 支援方法		行っている場合「1」
1	カウンセリング	
2	進路・就職指導	
3	発達障害支援センターとの連携	
4	特別支援学校との連携	
5	生活指導(食事、洗濯等)	
6	学習指導(履修方法、学習方法等)	
7	その他(支援方法記入)	
8	その他(支援方法記入)	

(6) 現在、発達障害のある学生への支援に関して感じている困難があれば、ご記入下さい。



5. 障害学生修学支援活動

障害学生の在籍の有無を問わず回答

障害学生支援に関する活動や取組（教職員に対する研修や、教職員・学生に対する啓発活動等）を行っている場合は、「1～8」の欄に「1」を記入し、さらに「1～4」についてはその内容について右の欄にご記入下さい。（複数回答可）

<5-1>活動・取組

障害学生支援に関する活動や取組	行っている場合「1」
1 関連する講義(ボランティア論)などの開講	
2 学生向け各種研修(ノートテイカー養成研修など)の実施	
3 教職員向け各種研修(FD研修、SD研修など)の実施	
4 各種イベント(障害体験講座、講演など)の実施	
5 障害学生と支援スタッフ(支援を行う学生など)に対する相談対応、懇談会等の実施	
6 支援マニュアルパンフレット等の作成配布	
7 ホームページで障害学生修学支援情報の公開	
8 入学式等の学内イベントでの障害学生修学支援についての情報提供	

→ 講義等の名称

→ 研修等の名称   
研修等の実施時期

→ 研修等の名称

→ イベントの名称

6. 卒業後の進路状況

平成19年度の通学制卒業障害学生について回答

通学制を平成19年度に卒業した障害学生について、平成20年5月1日現在の進路状況についてご記入下さい。

- ・「①最高年次障害学生数」には、平成19年5月1日時点で最高年次に在籍していた障害学生数をご記入ください。なお、最高年次が2年次と3年次の両方がある場合(2年制及び3年制の両方を設置)は、その合計数をご記入下さい。
- ・「②平成19年度卒業の障害学生数」には、平成19年5月2日～平成20年3月31日までの間に卒業した障害学生数をご記入下さい。

<6-1>卒業後進路

(単位:人)

通学制 についてのみ回答	① 最高年次 障害学生数  2年次 (+3年次)  H19年 5月1日 現在  ※12	② H19年度 卒業の (H20年3月 31日まで) 障害 学生数  ※13	③H19年度卒業(H20年3月31日まで)の障害学生の進路状況																
			A	B	C	D	E	就	臨	専	社	一	左	死	計	左			
			大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	職 者  (左記A～Eを除く)	床 研 修 医  (予定者を含む)	修 学 校 ・ 外 国 の 学 校  ・ 機 関 等 入 学 者  ・ 学 校 ・ 外 国 の 学 校	社 会 福 祉 施 設 ・ 医 療 機 関 入 所	一 時 的 な 仕 事 に 就 いた 者	左 記 以 外 の 者	死 亡 ・ 不 詳 の 者	計	左 記 A ～ E の う ち の 者			
視覚障害	盲																		
	弱視																		
聴覚・言語障害	聾																		
	難聴																		
	言語障害のみ																		
肢体不自由	上肢機能障害																		
	下肢機能障害																		
	上下肢機能障害																		
	他の機能障害※3																		
	重複※4																		
	病弱・虚弱(診断書有)※5																		
発達障害 (診断書有) ※6	LD																		
	ADHD																		
	高機能自閉症等																		
その他 (診断書有) ※8																			
	計																		
発達障害 (診断書無・配慮有) ※7	LD																		
	ADHD																		
	高機能自閉症等																		

## 7. 要望・ご意見等

- (1) 障害学生の修学支援に関して、課題と感じられておられること、お困りになっている事がありましたらご記入下さい。

<7-1>課題等

- (2) 障害学生に対して行っている支援内容が、障害学生以外の大学利用者や学外において活かすことができると感じておられることがあればご記入ください。

例：学外講演会におけるパソコンテイクの活用  
公開講座出席のご高齢者に対する配慮

<7-2>学外活用

- (3) 日本学生支援機構の障害学生修学支援の取組について、ご意見・ご要望がありましたらご記入下さい。

<7-3>意見・要望

ご協力、誠にありがとうございました。

高等専門学校用



平成20年度（2008年度）大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査（高等専門学校用）

学校名			
主となる所在地 の都道府県名	記入の仕方：都府県は省略 例) 北海道 → 北海道 東京都 → 東京		
担当部課室名			
担当者名			
連絡先	TEL :		
	FAX :		
	E-mail :		

日本学生支援機構より障害のある学生に対する修学支援に関するイベント等の情報を希望する場合は「1」をご記入下さい。↑

※ご記入いただいた個人情報（担当者名、E-mail）は、本調査の回答に関して個別に確認が必要な場合に利用します。また、本機構の関連事業実施に当たり、必要に応じて、より詳細な情報を収集するため個別に問い合わせる場合に利用することがあります。

注意

- 調査シートは全部で13枚あります。
- 障害のある学生（以下「障害学生」という。）が在籍していない場合でも、ご回答下さい。
- 記入のないシートがあった場合も削除せず、全てのシートをご送付下さい。
- 研究生、科目等履修生、聴講生、及び別科生は対象外ですので、計上しないで下さい。
- 平成20年5月1日現在の数値に基づいてご記入下さい。
- 数値は、半角でご記入下さい。
- 調査票内の※については、別ファイルの「記入上の注意」をご参照下さい。

回答締切日 平成20年12月26日（金）

日本学生支援機構のホームページから様式をダウンロードし、記入後の調査票をメールまたは郵送にてご送付下さい。

様式ダウンロード用URL：[http://www.jasso.go.jp/tokubetsu\\_shien/chosa08.html](http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/chosa08.html)

■送付用メールアドレス：[kaitou@jasso.go.jp](mailto:kaitou@jasso.go.jp)

メールの標題：○○高等専門学校回答（例：青海工業高等専門学校回答）

■郵送先住所：〒135-8630 東京都江東区青海2-79 日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課

<問い合わせ先>

日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課 事業計画係（担当者：石川・木村・渡邊）

住所：〒135-8630 東京都江東区青海2-79 電話：03-5520-6173

E-mail：[tokubetsushien@jasso.go.jp](mailto:tokubetsushien@jasso.go.jp)

1. 学校全体の学生数等

障害学生の在籍の有無を問わず回答

- 平成20年5月1日現在の学校全体の学生数（障害学生を含む。）をご記入下さい。  
また、内数として、1年次の学生数を「うち1年次」の欄にご記入下さい。  
課程の設置がない場合は、「-（ハイフン）」をご記入下さい。

課程	学校全体の学生数 (単位:人)	
	うち1年次	
学科生		
専攻科生		
計		

(注) 1年次とは平成20年度の入学者をいいます。

(注) 専攻科  
学校教育法第119条第2項より  
「高等専門学校の専攻科は、高等専門学校を卒業した者又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者に対して、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的とし、その修業年限は、一年以上とする。」

- 障害学生の在籍状況について、①または②のいずれかに「1」をご記入ください。

<1-2>障害学生在籍状況

障害学生在籍状況		どちらかに 「1」
①	上記の課程に障害学生が在籍している	
②	上記のいずれの課程にも障害学生が在籍していない	

→「2. 障害学生数・支援障害学生数」に移動

→「3. 特別措置 受験者数・合格者数・入学者数」に移動

2. 障害学生数・支援障害学生数

障害学生が在籍している場合にのみ回答

ア. 学科生

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

( )には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援(例:ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。)を行っている(今年度中の支援予定を含む。)障害学生をいいます。
- ・障害学生(支援障害学生)の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年限を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

②-1-1)障害学生数等(学科生) (単位:人)

障害学生数		①障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)			
		ア. ①のうち1年次の学生数	イ. ①のうち休学者数	ウ. ①のうち最低在学年限を越えて在籍している障害学生数	
視覚障害	盲	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )
聴覚・言語障害	聾	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )
肢体不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )
その他(診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )

・「発達障害(診断書無・配慮有)」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

- ・「病弱・虚弱(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「発達障害(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「その他(診断書有)」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生(支援障害学生)」の内訳として、「学科別の障害学生数(支援障害学生数)」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

②-2-1)学科別障害学生数(通学制) (単位:人)

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)					
		人文	社会	教養	工業	農業	保健
視覚障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他(診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)				
		商船	家政	教育	芸術	その他
視覚障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )
肢体不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )
その他(診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )

イ. 専攻科生

障害学生が在籍している場合のみ回答

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

( )には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援(例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。)を行っている(今年度中の支援予定を含む。)障害学生をいいます。
- ・障害学生(支援障害学生)の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年限を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

<2-1-2>障害学生数等(専攻科生) (単位:人)

障害学生数		①障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)			
		ア. ①のうち 1年次の学生数	イ. ①のうち 休学者数	ウ. ①のうち 最低在学年限を 越えて在籍して いる障害学生数	
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )

・「発達障害(診断書無・配慮有)」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

- ・「病弱・虚弱(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「発達障害(診断書有)」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
- ・「その他(診断書有)」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生(支援障害学生)」の内訳として、「学科別の障害学生数(支援障害学生数)」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

<2-2>学科別障害学生数(専攻科生)

(単位:人)

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)					
		人文	社会	教養	工業	農業	保健
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )	( )

障害学生数		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)				
		商船	家政	教育	芸術	その他
視覚 障害	盲	( )	( )	( )	( )	( )
	弱視	( )	( )	( )	( )	( )
聴覚・ 言語障害	聾	( )	( )	( )	( )	( )
	難聴	( )	( )	( )	( )	( )
	言語障害のみ	( )	( )	( )	( )	( )
肢体 不自由	上肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	上下肢機能障害	( )	( )	( )	( )	( )
	他の機能障害 ※3	( )	( )	( )	( )	( )
重複 ※4		( )	( )	( )	( )	( )
病弱・虚弱(診断書有) ※5		( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書有) ※6	LD	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )
その他 (診断書有) ※8		( )	( )	( )	( )	( )
		( )	( )	( )	( )	( )
計		( )	( )	( )	( )	( )
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	( )	( )	( )	( )	( )
	ADHD	( )	( )	( )	( )	( )
	高機能自閉症等	( )	( )	( )	( )	( )

3. 特別措置 受験者数・合格者数・入学者数

障害を理由とする特別措置を行った場合に回答

- (1) 平成20年度入学選抜（平成20年度入学者）において、障害のある者に対して特別措置を行った受験者、合格者、入学者数をご記入下さい。入学者数については障害別の内訳をご記入下さい。
- ・学科生のみ、内数として、「AO入試」、「推薦入試」及び「障害者特別入試」についてご記入下さい。
  - ・「急性の疾病」や「けが」など一過性のもので、その後に回復する見込みがある者に対して行った特別措置者数は、計上しないで下さい。
  - ・受験者数及び合格者数は延べ数を、入学者数は実数をご記入下さい。

＜3-1＞特別措置者数 (単位:人)

		特別措置による受験者・合格者・入学者数(障害学生数)				
		学科生			専攻科	計
		うち AO 入試	うち 推薦 入試 ※10	うち 障害者 特別 入試		
受験者数						
合格者数						
入学者数						
視覚障害	盲					
	弱視					
聴覚・言語障害	聾					
	難聴 言語障害のみ					
肢体不自由	上肢機能障害					
	下肢機能障害					
	上下肢機能障害					
	他の機能障害 ※3					
重複 ※4						
病弱・虚弱(診断書有) ※5						
発達障害(診断書有) ※6	LD					
	ADHD					
	高機能自閉症等					
その他(診断書有) ※8						
計						
発達障害(診断書無・配慮有)※7	LD					
	ADHD					
	高機能自閉症等					

- (2) 「発達障害（診断書有）」、「発達障害（診断書無・支援有）」及び「その他（診断書有）」の障害学生が特別措置を受けて受験した場合、「具体的な特別措置」欄に具体的な特別措置の内容をご記入下さい。

＜3-2＞具体的な特別措置

特別措置を受けた受験者に対する、具体的な特別措置	
発達障害(診断書有) ※6	LD
	ADHD
	高機能自閉症等
その他(診断書有) ※8	
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD
	ADHD
	高機能自閉症等

4. 学内における支援

支援障害学生が在籍している場合にのみ回答

＜1. 授業に関する支援 I＞

- (1) 「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、支援障害学生(※2)が在籍していると回答し、更に以下の「1~10」の支援を行っている場合、それぞれの支援について該当する支援者を「ア・教職員」、「イ・学生」または「ウ・外部」から選び、障害種別に「1」をご記入下さい。(複数回答可)
- ・支援者が学生で、謝金等を支給している場合は「①謝金等支給有り」に「1」、履修科目に位置付けて支援を行っている場合は「②履修科目に位置付けて支援」に「1」、無償で支援を行っている場合は「③謝金等支給は無い」に「1」をご記入下さい。なお、「②履修科目に位置付けて支援」に「1」をご記入した場合は、「履修科目名」及び「具体的な方法」をご記入下さい。
  - ・支援者が外部で、支援に対して報酬を支払っている場合は「④報酬支払い有り」に「1」、無償で支援を行っている場合は「⑤報酬支払いは無い」に「1」をご記入下さい。

＜4-1＞支援者

障害種別	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		発達障害		その他		イ・学生		ウ・外部				
	ア・教職員	イ・学生	ア・教職員	イ・学生	ア・教職員	イ・学生	ア・教職員	イ・学生	ア・教職員	イ・学生	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	①謝金等支給有り	②履修科目に位置付けて支援	③謝金等支給は無い	④報酬支払い有り	⑤報酬支払いは無い	
																			ウ・外部
支援方法 ※11																			
1 点訳・墨訳																			
2 教材のテキストデータ化																			
3 教材の拡大																			
4 ガイドヘルプ																			
5 リーディングサービス																			
6 手話通訳																			
7 ノートテイク																			
8 パソコンテイク																			
9 ビデオ教材字幕付け																			
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用																			
11 その他(支援方法記入)																			

履修科目名	
具体的な方法	



<1. 授業に関する支援 II>

(2) 「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、支援障害学生(※2)が在籍していると回答した場合、行っている授業支援について、障害種別に「1」をご記入下さい。

(複数回答可)

<4-2>授業支援

支援方法 ※11		障害種別					
		視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	発達障害	その他
12	試験時間延長・別室受験						
13	解答方法配慮						
14	パソコンの持込使用許可						
15	注意事項等文書伝達						
16	使用教室配慮						
17	実技・実習配慮						
18	教室内座席配慮						
19	FM補聴器・マイク使用						
20	専用机・イス・スペース確保						
21	読み上げソフト使用						
22	講義内容録音許可						
23	休憩室の確保						
24	その他(支援方法記入)						
25	その他(支援方法記入)						

<2. 授業以外の支援>

(3) 「授業に関する支援以外の支援」を行っている場合は、下表の「支援方法」欄に具体的な支援方法を入力の上、該当する障害種別に「1」をご記入ください。

<4-3>授業以外支援

支援方法		障害種別					
		視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	発達障害	その他
26							
27							
28							

発達障害については次頁に記入

<3. 発達障害のある学生への支援>

**支援発達障害学生が在籍している場合にのみ回答**

「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、発達障害(診断有)の支援障害学生又は、発達障害(診断無・配慮有)の学生が「在籍している」と回答した場合、下記ご回答ください。

(4) 発達障害のある学生への支援を主として担っている部署に「1」をご記入下さい。(複数回答可)

<4-4>発達障害支援部署

発達障害のある学生 支援部署		担っている部署に「1」
1	保健管理センター又は保健室	
2	学生相談室	
3	障害学生専門部署又はプロジェクト等(部署・プロジェクト等名記入)	
4	その他(学生課・教務課・キャリア支援センター等部署名記入)	
5	特に決まっていない	

(5) 発達障害のある学生に行っている支援に「1」をご記入下さい。(複数回答可)

<4-5>発達障害支援方法

発達障害のある学生 支援方法		行っている場合「1」
1	カウンセリング	
2	進路・就職指導	
3	発達障害支援センターとの連携	
4	特別支援学校との連携	
5	生活指導(食事、洗濯等)	
6	学習指導(履修方法、学習方法等)	
7	その他(支援方法記入)	
8	その他(支援方法記入)	

(6) 現在、発達障害のある学生への支援に関して感じている困難があれば、ご記入下さい。



## 7. 要望・ご意見等

- (1) 障害学生の修学支援に関して、課題と感じられておられること、お困りになっている事がありましたらご記入下さい。

<7-1>課題等

- (2) 障害学生に対して行っている支援内容が、障害学生以外の大学利用者や学外において活かすことができると感じておられることがあればご記入ください。

例：学外講演会におけるパソコンテイクの活用  
公開講座出席のご高齢者に対する配慮

<7-2>学外活用

- (3) 日本学生支援機構の障害学生修学支援の取組について、ご意見・ご要望がありましたらご記入下さい。

<7-3>意見・要望

ご協力、誠にありがとうございました。



平成20年度（2008年度）  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

平成21年9月

独立行政法人 日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課

〒135-8630 東京都江東区青海 2-79

TEL 03-5520-6173 FAX 03-5520-6051

E-mail:tokubetsushien@jasso.go.jp